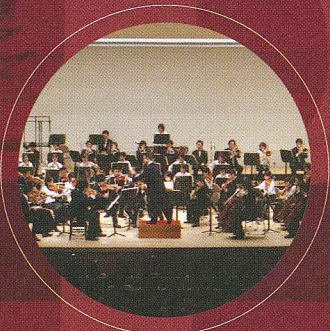
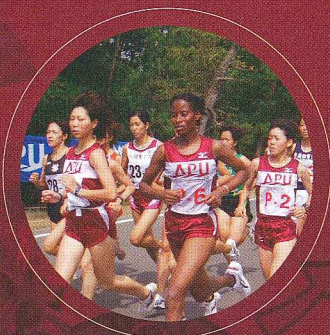
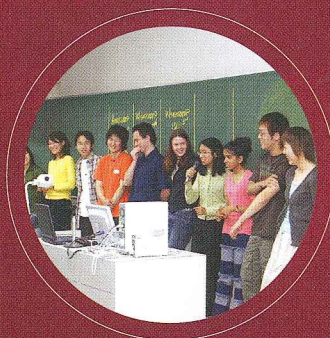


APU-Club

国内学生父母の会だより



会報発行によせて	01
今年度の父母の会の取り組み	03
総会報告	05
地域懇談会報告(大阪会場)	07
留学	09
就職	12
奨学金	15
父母の会の支援・協賛事業	17
Q&A	21
2006年度学年暦 & 学費納付スケジュール ...	23



APU-Club・国内学生
父母の会 会長

工藤 高史

2005年度「APU-Club・国内学生父母の会」会長を拝命し光栄に存じます。よろしくお願いいたします。今年度の会報発行にあたり、一言で挨拶申し上げます。

今年度も父母の会では、学生生活支援を中心に様々な事業に取り組んで参りました。グローバル化が急速に進む社会に貢献できる人材を育成するべく、特に国内学生の英語力向上に注力した大学の取り組みに呼応して、TOEIC[®]、TOEFL[®]など語学試験への受験支援をはじめ、交換留学、国際会議への参加学生に対する経費支援などを行いました。また今年度もAPUは内定率96.8%という高水準を維持し、企業からの一定の評価も頂いておりますが、父母の会といたしましても「キャリア・ディベロップメント支援制度」をはじめとする就職支援事業の充足を図り、側面から学生の皆さんの就職活動をバツ

クアップして参りました。あわせて皆さんに一流の芸術文化に触れて頂きたいと、立命館大学交響楽団のコンサートをはじめとする様々な文化行事への後援事業も行いました。

こうした学生支援事業とともに、会員同士の交流と意見交換、そして大学の近況や情報を得る場として、全国5ヶ所で地域懇談会を開催しました。

現在APUでは、世界71の国・地域から1800名以上の留学生が学んでいます。この多彩な国籍が集まる国際的でユニークな環境を生かし、「日本の大学教育のパイオニア」として更なる発展を遂げるように、今後も会員の皆様の大学の教育活動へのご理解とご支援を賜ります様よろしくお願い申し上げます。



立命館アジア太平洋大学 学長
APU-Club・国内学生
父母の会 名誉会長

モンテ カセム

「APU-Club・国内学生父母の会」の皆様の日頃の大学の教育活動へのご理解とご協力にあらためて感謝申し上げます。今年度も父母会の事業を通じて、学生の生活面、学修面、就職そして課外活動と、多岐にわたるご支援を頂き誠にありがとうございました。

開学6年目を迎えたAPUですが、私ならびに現執行部が一昨年春に就任する際、学生達へ約束したことのひとつが「世界に広がる知性を学生の下へ呼び込む」ことでした。この約束を果たすべく、今年度もまた学术界からはもちろん、政財官の各界からも数多くの要人にご来学頂き、次代を担う若者達を大いに鼓舞頂きました。

昨年10月には、ノーベル経済学賞受賞者アマルティア・セン博士（ハーバード大学教授／本学アカデミックアドバイザー）をお招きし、ノーベル賞受賞者シンポジウム「理知、対話、潜在能力ーアジア太平洋における意義ー」を実施致しました。1000名を超える本学学生が、第一級の研究者による基調講演を傾聴しておりました。

続く11月に大分県、別府市との共催で開催された「2005世界観光学生サミット」は世界21カ国・地域に所在する78大学から学生が集う一方、小泉純一郎内閣総理大臣を始めとする大臣、各国駐日大使、国会議員、また観光業界を代表する多くの機関・団体をお迎えし、密度の濃い国際交流を展開することとなりました。開催期間を通じて、その道の専門家の方々から貪欲に英知を得ようとする若者の姿に、大いなる可能性を実感した次第であります。

本年4月から、いよいよ「ニュー・チャレンジ」計画を実行に移します。学部横断的な教育・研究を行うカリキュラムとして5つの新たなインスティテュートの設置をはじめ、日々激変する国内外の情勢に機敏に適応し、諸課題を克服しながら力強くグローバル社会を歩める人材育成を目指して参ります。

父母の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご教示の程賜れます様宜しくお願い申し上げます。



APU韓国父母の会 会長

金 光勲

APU-Club・国内学生父母の会会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。皆様に韓国学生父母会の近況をご報告いたします。

韓国学生父母会では毎年、在学生父母と新入生父母、ご子女がAPUへの入学を希望している父母、そして学生も参加して総会を開催しています。2005年11月19日、第7回総会を中野雅博、仲上健一両APU副学長のご出席のもと、ソウルの韓国プレスセンターで開催しました。

皆様、お元気ですか。インドネシア父母の会を代表し、「APU-Club・国内学生父母の会」会報第3号の発行を心よりお喜び申し上げます。発行の成功をお祈りし、子供たちの学内での活動だけに限らず、地域でのボランティア活動や行事に参加している様子など、学外での活動及び父母の活動を含む全ての最新情報を提供して頂ければ嬉しく思います。そして、全ての父母の皆様がその情報を共有することができればと思っております。どうぞ宜しくお願いいたします。

Minasama ogenki desuka?

Warm greetings to you all from Indonesia. Hopefully you are all in good health.

On behalf of the APU Indonesian Parents Association, I would like to congratulate you on the third publication of the APU-Club Domestic Students' Parents Association Bulletin.

This year, I hope the bulletin will be a great success and can give us the latest and complete information



APUインドネシア
父母の会 会長

Ita Tundjung

会では、まず新韓銀行の人事企画チーム長から、企業が求めている人材像について大変新鮮な内容の講演を頂きました。また国内外の有名企業に就職した卒業生より、学生生活、就職活動及び社会活動をどのように行ってきたか、就職後にAPUで学んだことがどう生かされたか、そして後輩たちへのメッセージなどが語られ、卒業生の誇らしく成長した素晴らしい姿を見ることができました。父母にとって、APUが世界中で名実相伴う大学として位置づけられていることを実感する良い機会だったと思います。こうした大学の発展に寄与できるように、父母会としても、韓国国内の優秀な企業などに大学と学生たちを広報するなど、就職活動を支援しようといった計画も持ち上がっており、今後さらに活発化させたいと考えています。

最後になりましたが、国内学生父母会と諸外国の父母の会が相互に活性化し、益々発展していくことをお祈りいたしております。ありがとうございました。

not only on what our children are up to as Ritsumeikan Asia Pacific University students, but also report on academic and non-academic activities such as students participating in voluntary activities and festivals in the local community and on parents activities. In this way, parents can share the information with all members. Best regards.



APUタイ父母の会 会長

Maytee
Itiravivong

皆さん初めまして。私は2005年11月19日に設立されたタイ父母の会の会長に就任いたしましたMaytee Itiravivongです。この会は、タイ出身のAPU学生の教学面のアドバイスやサポート、インターンシップや就職活動の際の支援、海外の父母の会の皆様とのネットワークを築くことを目的に活動を行って参ります。

今後も他の父母の会の皆様との情報交換、意見交換を行い、私達の活動を活発化させたいと考えております。国内学生父母の会の今後の成功をお祈りしています。よろしく願います。

Minasan hajimemashite.

I am Maytee Itiravivong the President of the Thailand Chapter of the APU Students' Parents Association, which was inaugurated on November 19, 2005. The mission of this Chapter is to provide student academic advice and support; to assist with internship programs and job-hunting initiatives, and to be proactive in activities that strengthen the overseas APU Parents Association network.

The Thailand Chapter is looking forward to sharing ideas and being actively involved in the activities of the Association. I wish the APU-Club Domestic Students' Parents Association the very best of success in its future endeavors.

Yoroshiku onegai shimasu.

4年目を迎えた父母会では、新規事業を含め、下記のように学生の学修面や課外活動をサポートする
学生生活支援事業の充実を図って参りました。

TOEFL®・ITP、TOEIC®・IP、ハングル語検定試験など語学試験の受験料補助

APUで受験が可能な語学検定試験について、会員子女の受験料の補助を行いました。

特に今年度1回生・日本語基準で入学した学生の皆さんは、年4回のTOEFL®・ITP受験が義務づけられています。これについて父母の会では、1回の受験にかかる費用2,800円のうち1,550円の受験料(春入学の場合、今年度計4回の受験料11,200円のうち6,200円)の補助を行い、会員子女の年間受験料の個人負担額を5,000円としました。また、2回生以上の会員子女学生のTOEFL®・ITP受験と、全会員子女のTOEIC®・IP受験も年1回限り個人負担500円で受験できるように父母の会から補助を行いました。受験者数などは下記の表をご参照ください。

また、ハングル語検定試験は、受験する級に応じて補助金額が変わりますが、3級・準2級・2級は500円、準1級・1級は1000円の個人負担でそれぞれ受験できるように補助を行っています。自分自身の学習の成果、到達度を確認する上での受験を促進するとともに、さらに難易度の高い級へチャレンジしようとする学習意欲の向上にもつながっているようです。

父母会会員子女語学検定試験支援状況(2005年度)

試験種類	TOEFL®・ITP(1回生)	TOEFL®・ITP(2回生以上)※	TOEIC®・IP※	ハングル語検定
実施日	5月25日, 7月20日 11月16日, 1月25日	7月20日, 8月13日 10月5日, 11月16日 1月25日	10月15日, 12月7日 1月18日	11月20日
通常受付価格	11,200円	7月・1月:3,250円 その他:2,350円	3,000円	級により異なる (3級:3,400円~1級:8,500円)
会員子女価格	5,000円	500円	500円	2級~3級:500円 1級・準1級:1,000円
父母会支援者数	602人	179人	463人	73人

※会員価格での申し込みは年1回のみ。

就職支援事業の充実

首都圏・関西圏で長期にわたって就職活動、あるいはインターンシップを行う場合、移動にかかる交通費や滞在費が大きな負担となります。父母の会では「キャリア・ディベロップメント支援制度」を実施し、こうした負担をできる限り緩和しようと支援を行っていますが、今年度は、個人の負担額をさらに減らし、下記のように制度を改定しました。

2005年度のキャリア・ディベロップメント支援制度(会員子女の場合)

○対象となる活動

就職活動・インターンシップまたは各種キャリアディベロップメントプログラム関連の企画・行事への参加者。参加時期はセメスター期間中、セッション期間中を問わない。

※上記に該当する活動であれば、相手先の企業・団体は問わない。

○支援金額

1回の申請につき宿泊費は5,000円、交通費は2万5,000円を支援限度額とする。

※企業・団体から交通費・宿泊費の一部支給があった場合は、実際にかかった経費との差額を支援対象金額とする。(支援の限度額は上記を同様に適用する)

※本支援が対象とする活動のために、現住地を離れ、東京等において一定期間住居等を賃貸により使用している場合は、申請内容の審査により、宿泊費の支援対象とすることがある。

○申請回数

申請は各セメスターにつき1人1回までとします。

申請方法など詳しくはキャリア・オフィスへお問い合わせ下さい。

なお、2006年度の支援の詳細については、キャリア・オフィスが催す就職ガイダンスにて説明を行う予定です。

また就職試験の中で難関となるSPI試験の対策講座の開講や、立命館大学で開催される就職関連企画への参加にかかる経費の支援も引き続き行っていますが、今年度は特に会員子女学生については無料で対策講座の受講、または就職関連企画への参加ができるように、更なる支援の拡充を図りました。詳しくは13ページ「父母の会の就職支援」をご覧ください。

立命館・UBCジョイント・プログラム参加学生への奨学金支援

立命館・UBCジョイント・プログラムとは、立命館とカナダのUBC（ブリティッシュコロンビア大学）が共同で開発した独自のカリキュラムに基づく留学プログラムです。APU生も、毎年選考の上5名がこのプログラムに参加しています。父母の会では、これまで国際交流

支援として、交換留学を行う会員子女に対し、選考の上奨学金を支給してきましたが、この立命館・UBCジョイント・プログラムに参加する会員子女の学生に対しても、今年度から奨学金を支給することになりました。

2005年9月から派遣された学生のレポートをご紹介します。

森下 加那子さん (APM3回生)



※後列右から二番目が森下さん

留学経験の無かった私は、APUで身につけた英語をベースにカナダへ来ました。APUのキャンパスで自然と身についた国際感覚と異文化適応力のおかげで、ルームメイトとも壁を感じることなく共同生活をスタートさせることができました。現在私はカナダ人、イギリス人、中国人と男女

4人で1つの寮に住んでいます。それ

ぞれ異なる背景を持つ者同士が1つの家に住むというのは、多文化社会であるカナダを象徴していると言えます。この共同生活から得るものも多く、

一緒に映画を見た時などは日本人には理解しがたいジョークの意味なども教えてくれるので、英語の応用力も身につけ、いろいろな意味で彼らに助けられています。

今後はボランティア活動に参加するなど、もっと大学の外に出て実際の社会で働く人や子供たちと触れ合い、ネットワークを広げ、自分の可能性も広げたいと思います。またUBC学生と一緒にコーププログラム（世界各地での企業研修）にも参加する予定です。留学は全てが自分次第でどんなことでも財産になるものだと考えています。

父母会から頂いた奨学金は、私に責任感とやる気を与えてくれました。これからの自分の努力次第でAPUとUBCの連携がより促進されるのだと自覚してこれからも頑張っていきます。ありがとうございました。

江草 由季子さん (APM2回生)

現在UBCで異文化コミュニケーションやカナダの歴史に関する講義を受講しています。こうした授業や日常生活を通して、カナダが多文化社会であることを感じるとともに、APUを離れて、あらためてAPUが多文化環境であることを感じています。昨年APUに交換留学で来ていた学生達が良きサポーターで、偶然キャンパスで会うと会話が弾みます。カナダは本当に自然が豊かなところで、雨がよく降りますが、遠くの山々に雪が積もっているのが見えると、感動します。

カナダではボランティアの機会も多く、日系企業の人達に出会うこともあります。これからは、うまく時間を見つけてそういったイベントも体験し、で

きるだけ多くのチャンスを生かしていろいろと体験していきたいと思います。そして笑顔で帰れるように頑張ります。

このような機会を与えてくださったこと、そして支援して頂いた父母の会の皆様に心から感謝しております。本当にありがとうございました。



※中央が江草さん

高山 甲太さん (APM2回生)



※前列一番右が高山さん

高校時代のタイでの1年間の留学経験とAPUで得た国際感覚のおかげで、UBCでの生活を違和感なく送ることができていますが、寮生活というのは初めてで、今は寮ならではの楽しさを満喫しています。

私の住む寮は1、2年生が多くとても賑やかで、寮主催のイベントが毎月2、3回行われます。映画上映会

や運動会などイベントの種類は様々ですが、今まで参加した中でも特に「ロ

ングボート」が良い思い出となっています。これはUBCからバスで5分ほどのビーチで、全長1.5kmのコースを10人1チームで競って行われました。私のチームは、ボートも横転せず（横転は失格になります）予選を3位で通過できました。これによってチームの結束力もより強まるものとなりました。こうした寮での様々な経験は、私の留学生活をより一層面白くさせてくれます。

今後も父母の会から頂いた奨学金で、有意義な留学生活を送りたいと思います。本当に感謝しています。ありがとうございました。



2005年度「APU-Club・国内学生父母の会」総会



2005年5月28日(土)、APUキャンパスにて総会が開催され、
新入生父母73名を含む144名が全国から集まりました。

まず新会長を含め、今年度の7名の父母役員と大学側役員が承認
され、代表して工藤高史新会長から挨拶がありました。その後、カセ
ム学長から挨拶と大学の近況が報告され、引き続き「2004年度事
業報告および2005年度事業計画」の説明、会則改正についての説
明等が行われました。

また、学生プレゼンテーションとして、昨年「父母会表彰事業」で
20万円の奨学金を授与されたAPU学生登録団体「PRENGO」の
代表、若林泰宏さん(APM3回生)ら3名が、PRENGOの活動をパ

ワーポイントなどを使って報告した他、2004年12月に発生したスマ
トラ沖地震の被災地支援活動を行うために結成されたボランティアグ
ループ「愛の波」の代表、インド出身のMEHTA Mukulさん(APU大
学院経営管理研究科卒業)から、活動紹介とともに立命館学園が取り
組んでいる被災国での小学校再建プロジェクトに対して、父母の皆様
から80万円以上の寄付を頂いたことについてお礼の挨拶がありました。

全体会終了後は、各教室に分かれて、学修・学生生活・進路就職につ
いてのガイダンス、個別相談会が行われた他、交流会では、参加者同
士情報交換を行いつつ、交流を深めていました。

学長挨拶及び近況報告

立命館アジア太平洋大学 学長
モンテ カセム



ようやく5歳となり、まだ
小学校入学にも満たない
APUですが、社会的な注目
度は非常に高くなっていま
す。就職についても、例年
同様ほぼ100%に近い内
定率で、特に女子学生の就
職内定率の高さは著しいも
のです。

父母の皆さんの中には、
別府が地方都市であることを
心配されている方々も少

くないと思います。しかしAPUには、各国の大使や政府関係者が数
多く来学されていますし、国や多国籍企業とのパートナー関係も広が
っています。こうした刺激は、きっと学生の社会進出にも大きな影響
を与えることでしょう。APUに期待し注目して下さっている方々との
関係を大切に、助言を受け入れながら、皆さんのお子さんが学んで
いるこの大学をよりよいものにしていくことができれば、と考えてい
ます。

APUは今後も多面的な教育と国際的な環境を生かし、学生には深
く幅広く学び、人と人の絆を深めて欲しいという思いを持っています。
現在、学生数を1.5倍に増やし、インスティテュートの新設する計画を
進めています。規模を拡大することで、ゆとりある教育ができる財政
基盤をつくり、新しい教育の在り方も展開していきたいと思っています。

これからも皆様の変わらぬご協力とご支援をどうぞよろしくお願い
いたします。



APU学生登録団体 PRENGO 代表
若林 泰宏
APM3回生

この度は父母の会の皆様から頂いた奨励金で、タイ王国の現地支援2次隊を派遣し、活動を成功させることができました。厚く御礼申し上げます。私たちPRENGOは、タイ王国で地域支援や生活支援を行うNGO団体です。

現在、私たちが支援している小学校の子供たちの多くは、親をエイズで亡くしています。地元で職がないため出稼ぎに行き、エイズなどの病気にかかって戻

ってくる人が多いそうです。そのため、村がどんどん廃れている状況です。この現状を考慮し、地元で地域産業を起こすため、一村一品運動を始めました。具体的には、オレンジジュースの工場を建設する予定です。また、里親制度では、制服費や給食費が払えない子供たちに、年間の学費1万2千円を援助しています。さらに、エイズプロジェクトでは、エイズに対する正しい知識を身につけてもらうために、紙芝居などを使ったエイズ教育を行っています。

こうした活動を行う費用は、自分たちで都合するのではなく、企業から協賛金や支援金を集めることをモットーとしています。学問とは別のサークルというわけではなく、今、勉強していることとどう学びつけ、生かしていくかも考えながら、活動をさらに展開していきたいと思います。

2004年12月、インドネシアのスラバヤで大地震が発生し、周辺11カ国で約30万人の方が亡くなりました。被災者の方々は、現在も生活必需品の不足や伝染病などの恐怖と戦いながら生活を送っています。そこで私たちは、被災者が一日でも早く立ち直って元の生活に戻る手助けができればと思い、「愛の波」を結成しました。このグループ名には、支援の波を国境を超えて広げたいという願いも込められています。

活動は災害発生直後から始まりました。有志のメンバーが集まり、JR大分駅前やトキハデパート前で民族衣装を着て、インドネシアやスリランカなど被災地域の舞踊を披露して募金を呼びかけました。また、立命館大学のボランティアセンターで講演も行い、多くの人へ参加を呼びかけました。

いろんな国の学生が共に活動しているので、文化の違いを感じることもあります。しかし、お互い助け合うという目的はひとつ。手を取り合って活動を続けています。これからも、被災地域の小学校の再建、そして地域社会の完全復興を目指して、長期的に活動していきたいです。



愛の波 代表
MEHTA Mukul
2005年9月 APU大学院経営管理研究科卒業

INTERVIEW

父母の皆様にお話を伺いました。



中道 様 ご夫妻

長崎県/APM2回生

カセム学長の話はとても興味深く、ユニークでした。学生のプレゼンテーションも、内容が充実していて、大変頼もしくこちらが見習いたいほどでした。息子はベンチャービジネスに興味があるようなので、是非、この環境を生かしてしっかり頑張ってくださいね。

桐村 英幸 様

大分県/APM2回生

実は、大分市内で飲食店を経営していて、数名のAPUの学生さんにもアルバイトにきてもらっています。みんな本当に優秀で助かっています。この学校は、世界に目を向けた大学だと思います。息子には、多国籍語である英語を習得し、これからはアジアに目を向けて頑張ってください。



岩本 あけみ 様

福岡県/APS1回生

総会に参加して一番驚いたのは、全国各地から参加者がたくさんいらっしゃったことです。皆さんの意識の高さを深く実感しました。また、APUを見習って国際学部を設ける大学が増えているそうです。他校のお手本にもなっているAPUを誇りに思います。

原中 浩子 様

福岡県/APS1回生

学生の半数が外国籍だけあって国際色豊かですね。子供には、さまざまな国の友達をつくって欲しいと思います。友達は財産になるので、いろんな考え方を知って世界を広げてほしいです。また、APUは、やる気と夢を持って努力すれば必ず認めてくれる学校だと思います。



柳瀬 様 ご夫妻

福岡県/APS1回生

総会に参加して、先生の熱心さと親身に驚きました。娘をAPUに入学させてよかったです。将来は、観光の仕事に就きたいと語学習得に励んでいます。国際的な考え方を身につけながらも、自分の良さはしっかりと伸ばしてほしいと思います。

中川 様 ご夫妻

山口県/APM1回生

開学して間もない大学ですから、学校の伝統を形成するメンバーになれるのも魅力だと思います。また、総会の中で、カセム学長の学生数を増やすという提案が印象的でした。しっかりとした財政基盤を築いてよりよい教育環境をつくるというのは良いアイデアだと思います。



牧野 正美 様

北海道/APS1回生

総会に参加したことで、留学生に対する理解が深まりました。国籍問わず、お互いを尊重していくことでよい関係を築いてくれたらと思います。APUで学ぶことで、世界に貢献できるような人物としての基礎をつくってほしいですね。

2005年度は、東京、名古屋、大阪、広島、福岡の全国5会場で地域懇談会を開催し、のべ352名の会員の皆様にご出席頂きました。今年度は名古屋、そして広島で初の開催となった他、父母の皆様から要望が多かった「留学」「就職」についてのガイダンスを全会場で行いました。

また、卒業生や在学生の就職活動体験談では、実際の就職活動の様子だけでなく、面接などで強みにもなった、APUだからこそ経験できた学生生活、サークル活動についての話や、卒業生からは就職してから近況などがあわせて紹介されました。

多くの皆様に出席いただき、さまざまな意見が行き交う大変盛況な会を催すことができました。以下に大阪会場の模様をご紹介します。

プログラム (全会場共通)

(1)全体会

- ①父母の会役員あいさつ
- ②大学側あいさつ
- ③大学の近況報告
- ④留学ガイダンス(アカデミック・オフィス職員)
- ⑤就職ガイダンス(キャリア・オフィス職員)
- ⑥就職活動体験談(卒業生・在学生スピーチ)

(2)グループ別懇談会

(3)交流会 (希望者のみ)



父母の会役員あいさつ

大阪会場での地域懇談会開催は2回目ですが、前回の81名のご参加に続き、今回も100名以上という多くの方にご参加いただきました。

父母の会は、APUの教育活動に対する援助と文化的諸活動を通して、大学の充実と発展および会員相互の親睦を図ることを目的に活動しています。2002年5月18日に設立され、今年で4年目を迎えます。会員数は、ほぼ国内学生の数と一致していますので、ほとんどの父母の方にご参加いただいている組織と言えます。語学試験の受験料補助、交換留学支援、就職活動やインターンシップにかかる経費の支援や就職試験対策講座の開講など幅広い支援事業を行っています。

本日の懇談会では、父母の皆様から大変ご要望の多かった留学、

就職の説明会を開催いたします。卒業生からの体験談や学生のプレゼンテーションなどお楽しみください。

今後とも会員の皆様のご要望、ご意見を頂きながら充実した会にしたいと考えております。



APU-Club・国内学生父母の会
吉田 清 監事

卒業生・在学生による就職活動体験談



株式会社滋賀銀行勤務
手塚 直子さん

私は、就職活動の際にそれほど数多く会社をまわったわけではないのですが、8社ほどを受けたうちの4社から内定をいただくことができました。就職が難しい時代と言われる中、半数の内定をいただいたのは、面接重視の企業を選んだ結果だと思っています。APUは、議論するのが大好きな学校です。授業はもちろん、日常での友達との会話でも議論することは度々でした。みんなの意見がまとまらなければ、妥協点を探ろうとする時もありました。そうした

経験を、面接で上手く生かすことができたのだと思います。

就職活動は、学校を離れ実家に戻って行いましたが、毎日親から「がんばってね」などとひと言声をかけてもらったことを、大変心強く感じていました。みんな自信があるようで、落ち込む時もあるはずですが、ぜひ、ご父母のみなさんも、お子様の就職活動中は、よきアドバイザーとしてひと声かけてあげてください。

学校の創立時に入学したのですが、当時APUはまだ建設中の状態だったため、入学までは不安を感じていました。初めて別府を訪ねたとき、本当に学校があるのか心配だっただけに、APUの建物が見えてきたときはとても感動したのを覚えています。

色々な大学がある中で、わざわざAPUを選んだ人はやはり個性的な人が多いですね。そんな人が世界から集まってきている。それだけに、キャンパスを歩いているだけでも刺激的で面白かったです。学生生活で、サークルをやりたい! 学園祭をやりたい!

と思っても、まずはそれを創ることからのスタートでした。多くの企業は、「自分で考えて行動できる人」を求めていると言います。APUではそうせざるを得ない状況だったので、面接で「学生時代に何をしましたか?」と聞かれて、答えられることがたくさんあったのが良かったですね。現在、入社してすぐ海外営業を担当しています。APUでの国際的な経験が評価されてのことだと思っています。



石川島播磨重工業株式会社勤務
中村 竜太さん



日本ペーリンガー
インゲルハイム株式会社内定
矢野 佑佳さん
(APS4回生)

学生時代に力を入れたことのひとつに、国際学生の生活をサポートするサークル活動があります。APUの寮には約800名の学生が住んでいます。寮生の多くが国際学生です。国際学生が日本で生活するために、ごはんの炊き方を教えたり、共同キッチンをきれいに保つために掃除当番をもうけたりと、さまざまな生活のサポートを行っていました。普段の生活では、なかなか自分が日本人であることを強く意識することはありませんが、そうした活動を通して意識

することもできました。また、困難にどのように立ち向かい、どのように解決するかを学べたことも良かったと思います。

就職活動は、同じ業界を目指している人と仲良くなると良いと思います。一人の情報量は限られています。それを交換しあうことによって2倍にも3倍にも膨らむはずです。就職活動中、APUと名乗るだけで「今日はわざわざ大分からきたの?」と声をかけていただいたこともありました。色々な面でAPUの環境を利用するのも良いと思います。

INTERVIEW

ご参加いただいた父母の皆様にお話を伺いました。



川崎 様 ご夫妻

滋賀県/APM1回生

今日は、会場で卒業生や在学生の話を伺ってAPU学生の積極性や前向きな面を強く感じることができました。また、先生方がアットホームで親しみやすいのも印象的でした。せっかく世界の国の人たちとふれあえる大学なので、子供にも世界中に人材のネットワークを広げて欲しいと思っています。同時にAPUからもっと多くの方に知ってもらえるように情報を発信して欲しいですね。



榎本 晴代 様

大分県/APM2回生

妹の子供がAPUに通っていたので、大学のことは知っていました。それがきっかけで息子も入学を決めました。せっかくAPUに入学したのだから、留学経験はして欲しいと思っています。今日は、留学の話がいろいろ聞けてよかったです。



宮本 和代 様

奈良県/APM3回生

息子は3回生なので、そろそろ就職活動も身近な話題。卒業生や在学生の話を直接聞くことができてよかったです。特に皆さんのお話から企業が求める人材がよくわかりました。

誰もが留学できる時代。 自分にあった留学を実現するためには…

本学の国際的な環境に触発され、実際に海外で生活してみたい・学んでみたいという意欲を持つ学生が、毎年さまざまな形態で海外へ羽ばたいています。しかし、留学が必ずしも楽しい生活や素晴らしい結果を保証するものではありませんし、留学すれば必ず語学が上達したり、満足のいく就職ができたりするわけでもありません。明確な目的意識を持ち、綿密な留学計画を立てることが、留学を成功させる秘訣です。以下に、APUの留学制度を紹介します。

1 交換留学

海外の大学で専門分野を学びたい人のために…世界27カ国・地域／58大学へ学生を派遣（2006年1月現在）

概要
立命館アジア太平洋大学と学生交換協定を締結している海外の大学に約1年間もしくは1セメスター留学するプログラムです。派遣先の大学で、現地学生とともに各自の専門分野のカリキュラムを受講するため、専門分野における基礎学力と高い外国語運用能力が要求されます。また、異文化社会に適應できる柔軟性と自立した精神力が必要となります。

経 費

本学に学費を納入することで派遣先大学への授業料は納入不要です。渡航費・滞在費その他必要な経費は自己負担となります。

2 交換留学(短期)

APUでは現在、交換留学協定大学であるコペンハーゲンビジネススクール（デンマーク）、香港中文大学（香港）、シンガポールマネジメント大学（シンガポール）3校と1クォーターの短期交換留学プログラムを実施しています。同プログラムでは、1クォーターをAPUで、1クォーターを海外協定大学で学習しますので、短期間海外の大学で集中的に専門科目を履修したい学生に最適です。なお、留学期間にあたるAPU

応募資格

成績…GPA2.0以上（派遣先により異なる）
語学力…英語圏への留学はTOEFL®550点以上必要。
英語圏以外の場合、派遣先の正規課程のクラスで学べる語学力が求められる。

募集人数

若干名。

派遣時期(目安)

*北米・中南米・ヨーロッパ→秋セメスター出発
*オセアニア→春セメスター出発
*アジア→多くの大学が春・秋いずれからでも受入れ可能
上記派遣時期・期間は目安です。各大学の都合により前後することがあります。

宿 舎

派遣先により異なりますが、基本的には派遣先大学の学生寮への入居が可能です。ホームステイ・プログラムを提供している大学もありますし、個人的にアパートを借りる学生もいます。

帰国後の単位認定方法(時期・提出書類)

留学先で取得した単位は、APUの単位で60単位を上限として認定を行います。単位数の換算方法は、多国間における大学単位互換方法を定めたガイドライン(UCTS)によることを基本としています。したがって現地大学の単位数が必ずしもAPUと同一単位数とは限りません。留学先の正規課程において修得した科目のうち、本人からの申請に基づき、審査の上、認定を行います。APUの開講科目と全く関連性の無いもの（体育、芸術等）の単位認定は行っていません。

交換留学出願の流れ（出発の1年前から準備が始まります）

流れ	春	秋
本学ホームページ上で、募集情報入手	4月	10月
1次審査書類提出 (志望理由書・語学能力・GPAなど)	5月	11月
面接（一次選考通過者のみ）	6月	11月
内定	6月	12月
派遣先大学へ書類提出	10～11月	4～7月
派遣先大学から入学許可入手	書類提出後1ヶ月程度	
本人によるビザ・航空券手配	入学許可入手次第	
出発	1～3月	8～10月

奨学金(2005年度実績)

- ①「APU-Club・国内学生父母の会 交換留学支援」
父母の会の会員子女である交換留学生を対象にした奨学金です。詳細は11ページをご覧ください。
- ②日本学生支援機構 短期留学推進制度(派遣)奨学金
(金額)月額8万円
(人数)同機構の指定枠に基づきます。
(選考)交換留学志望理由書・GPA・語学能力・面接
評価を総合的に判断し、上位者より日本学生支援機構へ推薦し、同機構が採用可否を判断します。

3 英語イメージプログラム

英語力向上のためにAPU学生向けに開発されたプログラムおよび立命館大学と共同実施するプログラムです。詳細は、募集ガイダンスや配布資料でご案内します。

	プログラム名	派遣期間(予定)	募集・選考時期(予定)
APU 学生向け プログラム	シンガポール国立大学 英語イメージプログラム(シンガポール)	夏季・冬季の年2回 (8月中旬・2月中旬開始)／各3週間	夏出発:4月 冬出発:10月
	モナッシュ大学 英語イメージプログラム(オーストラリア)	夏季もしくは冬季の年1回 4週間	夏出発の場合:4月～ 冬出発の場合:10月～
立命館大学 との共同実施 プログラム	立命館・UBCジョイント・プログラム (カナダ)	8月末／9月初旬～翌年4月下旬 約8ヶ月間	10月下旬～
	立命館・ワシントン大学「平和学」 プログラム(アメリカ)	目安:9月初旬～12月初旬 約13週間	6月初旬
	立命館・マコーリー大学「日豪関係」 プログラム(オーストラリア)	2005年度実施分: 2005年7月30日～10月1日／約10週間	6月初旬
	立命館・ボストン大学「英語研修」プログラム (アメリカ)	2005年度実施分: 2006年2月21日～3月19日／約4週間	2005年度募集分: 6月中旬～
	立命館・シモンズカレッジ 「アメリカと東南アジア」プログラム(アメリカ)	2005年度実施分: 2006年2月3日～3月4日／約4週間	2005年度募集分: 9月下旬～

シンガポール国立大学 英語イメージプログラム

シンガポール国立大学(NUS)内の Centre for English Language Communicationで短期間に集中的に学ぶ英語運用能力向上のためのプログラムで、APU学生向けに特別に開発されました。1クラスの規模15名程度で編成され授業運営がなされます。

プログラム 1 少人数のクラス編成で、1日中みっちり英語のプログラムです。4技能(リスニング、スピーキング、リーディング、ライティング)の中でも、スピーキング能力向上に重点を置いています。また、シンガポールの歴史や文化、産業を知るための講義やシンガポール市内をフィールドワークし、プレゼンテーションを実施する講義、NUS学生とディスカッションを行う機会な

ども含まれます。プログラム対象はTOEFL®450点程度までの学生です。「P(合格)」の評価を受けたプログラム修了者は、帰国後単位認定が可能です。

費用

SGD\$3,150(約22万円)程度(授業料、宿泊費含む)
※食費その他は個人負担となります。

プログラム 2 APUの英語開講科目をスムーズに受講できるようにするためにAcademic WritingやAcademic Readingなどのスキルや実際のテーマを設定した複数の講義を受講します。2004年カリキュラム日本語基準学生に最適のプログラムです。対象は、TOEFL®450点から500点までの学生です。「P(合格)」の評価を受けたプログラム修了者は、帰国後単位認定が可能です。

費用

SGD\$3,320(約24万円)程度(授業料、宿泊費含む)
※食費その他は個人負担となります。

宿泊

NUS学生が日常生活を過ごす寮施設内のゲストルームに滞在します。このゲストルームは通常NUSの客員教授の方やシンポジウムなどが開催される時にゲストとして参加される各国の要人の方々や宿泊される部屋です。

NUSに関する情報はこちら

<http://www.nus.edu.sg/corporate/about/index.html>

モナッシュ大学 英語イメージプログラム

多文化や民族学に興味を持つAPUの学生のために作られた、コミュニケーションスキルの上達を目的としたプログラムで、英語学習に加えてオーストラリア研究に焦点が置かれています。参加学生は、プログラム中に行うフィールドワーク、講義、研究などを基にした「Multicultural Australia」もしくは「Indigenous Australia」を題材としたレポートを作成します。

募集時期 募集人数	20名程度
単位認定	「P(合格)」の評価を受けたプログラム修了者には、帰国後単位認定が可能です。
費 用	30万程度(学費、ホームステイ、空港の出迎え) ※航空券、保険の費用は別途必要。
滞在先	4週間を通してホームステイとなります。 ホストファミリー宅には他に日本人はいません。 1人部屋で1日3食提供されます。
ビザ・保険 など	日本人学生は1ヶ月未満のこのプログラムではビザは必要ありません。

4 海外言語研修プログラム

短期・長期の語学研修については、個人で手配するものの他に、大学が紹介するプログラムもあり、英語やアジア太平洋言語（AP言語）能力の一層の向上を目指して海外の大学で学びます。

実施プログラム

1) 英語圏—— 夏期・冬期セッション中の短期プログラムと長期（セメスター派遣）プログラムがあり、セメスター派遣プログラムでは、「留学」もしくは「休学」の学籍状態を選択できます。外部委託業者を通じて実施します。

学籍状態	在学期間の扱い	授業料の扱い
休学	在学期間に算入されない。	在籍料のみ必要。
留学	在学期間に算入される。 単位取得状況によっては、この期間を含めて4年間の卒業が可能。	留学経費に加え、APU授業料A（固定部分）が必要。

2) AP言語圏—— AP言語5言語について、夏期・冬期セッション中に短期プログラムのみ実施しています。

スケジュール

	春セメスター	秋セメスター
ガイダンス	5月下旬	11月下旬
申請期間	5月下旬	11月下旬
派遣開始	8月上旬	2月上旬

履修免除および単位認定について

海外言語研修プログラム参加後、学生本人の申請に基づき、大学が定める基準を満たす場合は、研修した言語科目の履修免除もしくは単位認定を申請することができます。

5 個別合意に基づく留学

個別合意に基づく留学とは、本学学生が諸外国の大学に入学が許可された場合、本人の申請（遅くとも出発4ヶ月前までにアカデミック・オフィスへ申請）に基づいて、本学が留学と認定した場合を言います。あくまで正

規課程に入学する場合であって、大学附属の英語集中コース（ELIなど）では適用されません。派遣期間は1年を上限とし、学籍上の取り扱い・単位認定などについては交換留学の場合と同じです。一方、経費については全て自己負担となり、学費は本学と留学先大学の両方へ納入しなければなりません。留学の申し込み、渡航先の情報収集、本学に留学と認められるために必要な提出書類の準備など、全て本人が行う必要があります。

6 休学による海外渡航

休学をして海外へ行き、語学研修などを行う場合は、たとえ留学先で単位を取得しても、本学の単位としては認定されません。ただし、言語教育科目の履修免除申請は可能です。休学はセメスター単位で許可され、最大4セメスターまで延長できます。その期間中は学費免除となりますが、1セメスターあたり5,000円の在籍料を納入する必要があります。

交換留学協定校一覧（過去数年で募集実績のある大学、および今後派遣予定の大学）

募集対象となる大学は募集ガイダンス時期に国際交流のウェブサイトに掲載します。ヨーロッパ地域は英語で授業が行われている大学と協定を締結しているため、留学先がイギリスのみに限定されることなく、様々な国で交換留学を行うことができます（スペインのUniversity of Santiago de Compostela は除く）。

地域	国・地域名	交換留学協定校	開講言語 ※	地域	国・地域名	交換留学協定校	開講言語 ※		
アジア	中国	東北財経大学	中国語	ヨーロッパ	オランダ	Leiden University	英語		
	韓国	東西大学	韓国語		ノルウェー	University of Bergen		BI Norwegian School of Management	
		梨花女子大学	韓国語(英語)		スペイン	University of Santiago de Compostela			スペイン語
		漢陽大学			スウェーデン	Lund University			
		高麗大学			Södertörns Högskola University	イギリス		Westminster University	
		慶熙大学	韓国語		Westminster Business School				
		釜山国立大学	韓国語		University of Kent				
		淑明女子大学	韓国語(英語)		University of Kent (Option 2)				
		蔚山大学	韓国語(英語)		北米	カナダ		University of British Columbia	英語
		延世大学	韓国語(英語)					Simon Fraser University	
	香港	香港中文大学	英語／中国語	University of Lethbridge					
	インドネシア	Gadjah Mada University	インドネシア語／英語	York University (Schulich School of Business)					
	インド	EMPI University	英語	University of Waterloo					
	マレーシア	University of Malaya	英語／マレー語	アメリカ	American University				
	シンガポール	Singapore Management University	英語		University of Hawaii				
台湾	国立政治大学	中国語	University of Wisconsin Oshkosh						
	国立台湾師範大学		University of Wyoming						
	東海大学		University of Montana						
	南台科技大学		University of Oklahoma						
タイ	Thammasat University	英語	南米		メキシコ		Tec de Monterrey	英語およびスペイン語	
ヨーロッパ	オーストリア	Steyr School of Management			アルゼンチン	Universidad Argentina de la Empresa (UADE)	スペイン語		
		University of Applied Sciences bfi Vienna			エクアドル	Universidad Del Pacifico			
	デンマーク	Copenhagen Business School			オセアニア	オーストラリア	La Trobe University	英語	
		Copenhagen University					Macquarie University		
	Aarhus School of Busines	Macquarie University (IAPE Program)							
	フィンランド	Laurea Polytechnic	Charles Sturt University						
	フランス	Group Ecole Superieur de Commerce(ESC) Rouen	James Cook University						
		Institut Superieur du Commerce(ISC) Paris	サモア	National University of Samoa					
	ESCIP								
	ドイツ	Otto-von-Guericke-Universität Magdeburg							

※（ ）内の言語は一部科目のみ開講します。

APUで培った国際感覚と語学力で海外へ留学!

学生の皆さんの大きな夢をサポートする父母の会の「国際交流支援」は、本年度から始まった

「立命館・UBCジョイント・プログラム支援」(4ページで紹介)に加え、次のような支援事業を行いました。

交換留学支援

交換留学として派遣が決まった会員の子の中から、成績・面接などの結果でアカデミック・オフィスが推薦学生を選考し、各セメスター3名を上限に1年派遣学生には上限40万円、1セメスター派遣学生には上限30万円を奨学金として支給する事業です(2005年度実績)。受給した学生の皆さんからは、下記のような父母の会へのお礼状と留学の様子を伝えるレポートが届いています。

国際会議参加支援

会員子女が、国内外で開催される国際会議に、学内選考の上大学の代表として参加した場合に、上限10万円を支給しました。19ページに受給学生からの報告をご紹介します。

篠原 辰治さん(APS2回生)

ウィスコンシン大学オシュコシュ校(アメリカ)



※前列左から二番目が篠原さん

現在私はアメリカのウィスコンシン大学オシュコシュ校で教育を専攻し、充実した日々を送っています。これも父母の会の奨学金を頂いたお陰と大変感謝しております。本当にありがとうございます。

留学して早くも3ヶ月が過ぎ、秋セメスターもテストを残すのみとなりました。時が経つのは本当に早く、自分の留学期間が少なくなっていくの

がとても残念ですが、それだけ時間を有効に使い、充足した日々を送っている証拠だと思っています。英語がうまく話せないために苦労する事が多々ありますが、周りの友達に支えられながら、なんとか頑張っています。

また、ここに来て改めてAPUの偉大さを感じずにはられません。APUから離れないと分からない事だったと思います。日本を懐かしむという気持ちは余り無いのですが、APUやAPUの友達を懐かしく思うことがよくあります。

一年後、APUの仲間達に胸を張って会えるように、ここで最大限の努力をするつもりです。

藤野あかりさん(APM3回生)

ルアン・マネジメント・スクール(フランス)

フランスで生活を始めて3か月になります。環境の変化にも慣れ、価値観や考え方の違いなどが明確に見えてきました。同時に自分が日本人で、日本の価値観や考え方を持っているのだと再認識しています。

一番大きな違いを感じたのが「クオリティー・オブ・ライフ」、その名の通り「人生の質」に対する考え方です。日本では将来を考えながら現在の行動を判断する傾向が強いのですが、フランスの人々(文化)は「今」、その瞬間が一番大事で、今をどれだけ楽しく過ごせるかを重視しているようです。つまり毎日を楽しく積み重ねていけば、満足できる人生を送れるという考え方なのでしょう。こうした価値観を感じながら、私自身フランスで一年をどう過ごすのがベストなのかを考えることが大切だと思います。

現在履修している授業は全て少人数クラスで、一人ひとりが発言し、それについて議論する機会があるため、クラスメイトとすぐに打ち解けました。また、ビジネスやカルチャーマネジメントの授業で日本の経済や文化について議論する時は、外からの視点で客観的に日本を見るので、新しい発見が数多くあり

ます。たまにびっくりするような誤解があったりもして、毎回興味深く耳を傾けています。「まだ待が日本に存在するのか」という質問を受けたこともありましたが(笑)友達は日本に興味を持っていて、文化などを紹介した本を見せると喜んでくれました。また、今フランスではお寿司がとても人気で、パーティーを開いた時は、手作りの巻き寿司が大好評でした。

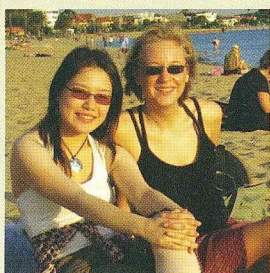
まだ始まったばかりですが、これから私なりにフランスでの生活を満喫し、この一年を価値のあるものにしたいと考えています。父母の会の皆様のご支援、本当にありがとうございます。



※左が藤野さん

岩本英恵さん(APS3回生)

ラトロブ大学法学経営学部(オーストラリア)



※左が岩本さん

自宅通学だった私が、今一番楽しんでいるのは、何といっても寮生活です。私のフロアにはスウェーデン人、トルコ人、マレーシア人、モーリシャス人、オーストラリア人など計10人が一緒に生活しており、もしAPハウスに住んでいたら、同じような雰囲気なんだろうと感じています。夕方ともなると、キッチンから色々な料理のいい匂い漂ってくるので、いつの間にかみんなで食卓を囲み、話に花が咲きます。ここで出会った友達に、留学生

活で得た宝物のひとつになることは間違いありません。

またラトロブ大はとても規模が大きく、生徒数もAPUの約10倍、様々な分野を学ぶことができる大学です。APUでは残念ながら学ぶことができない学問を、ここで、さらに異言語で学んでいるので、今私はとても充実した学習生活を送っています。もちろん毎日の勉強量も格段に増え、それと同時に充実感も増えたということは言うまでもありません。

最後に、頂いた奨学金は寮費や航空券の購入、そして教科書代など有意義に使わせて頂きました。APU、そしてAPU父母の会がますます発展し、私が受けたこの素晴らしい制度が、より多くのAPU生の海外留学の大きな助けとなることを期待しております。本当にご支援ありがとうございました。

就職内定状況について

2005年度の卒業生の就職は、2004年度に引き続き日本人学生・留学生ともに好調な成果を収めました。APUの環境で培われた学生の積極性・コミュニケーション力などは企業に高く評価され、今年度も多くの4回生が理想の進路を実現させています。

本学2005年度卒業生(2005年12月31日現在)の内定率は96.8%、また、上場・大手率(公務員・法人等を除く)も80.0%にのぼっています。本学ではキャリア・オフィスを中心に、学生の就職活動を全面的にサポートしており、就職ガイダンス・企業講演会・「オンキャンパス・リクルーティング」・個別相談・求人票の掲示・資格試験対策を行うエクステンション講座(初級システムアドミニストレータ・マイクロソフトオフィススペシャリスト(ワード・エクセル)・簿記2級・3級)など幅広い支援を行っています。

本学の就職活動の特徴として、企業や団体の人事担当者の方々に直接来学頂き、学内でAPU学生のみを対象に、説明会・面接等の選考を実施する「オンキャンパス・リクルーティング」に取り組んでいます。今年度のオンキャンパス・リクルーティングは200件を超え、大手企業を中心にAPUの内定者全体の4割を占めています。

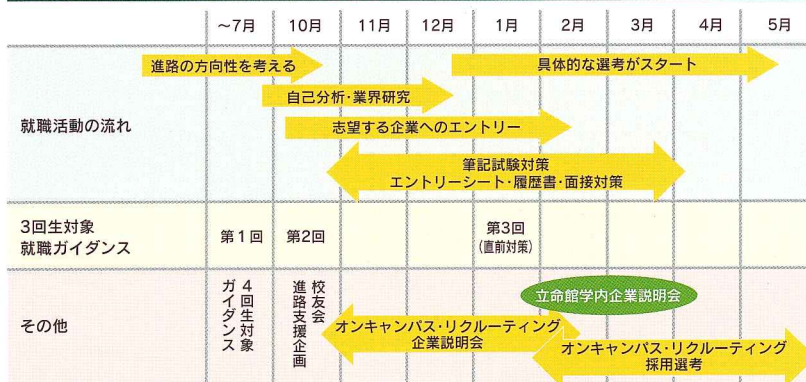
2005年度APU内定報告状況(2005年12月31日現在)

		男子	女子	計
全体	就職希望者	183	226	409
	内定報告者	173	223	396
	内定率	94.5%	98.7%	96.8%
国内学生	就職希望者	109	145	254
	内定報告者	104	143	247
	内定率	95.4%	98.6%	97.2%
国際学生	就職希望者	74	81	155
	内定報告者	69	80	149
	内定率	93.2%	98.8%	96.1%

(参考)私立大学(四年制)就職内定率 全国77.4%/九州地区65.2%

文部科学省・厚生労働省調べ「平成17年度大学等卒業生就職状況調査(2005年12月1日現在)」より

就職活動のスケジュール



2005年度主な内定先企業・団体(2005年12月31日現在)

あいおい損害保険㈱
愛三工業㈱
㈱愛知銀行
IBM Business Services Inc.
㈱あさひ
アサヒビール㈱
アデコ㈱
アビームコンサルティング㈱
アメリカンファミリー生命保険会社
イオン㈱
石川島播磨重工業㈱
伊藤忠丸紅鉄鋼㈱インドネシア
㈱INAX
稲畑産業㈱シンガポール
㈱エイチ・アイ・エス
ANAセールス㈱
㈱SRA西日本
エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ㈱
おおいトインフォメーションハウス㈱
㈱大分銀行
大分ケーブルテレコム㈱
大分県警察本部
㈱大分合同新聞社
大分信用金庫
大分ゼロックス㈱
㈱オートボックスセブン
オリックス㈱
㈱ガイアシステム
花王㈱
㈱カネカ
㈱川島織物
川重冷熱工業㈱
九州旅客鉄道㈱
京セラミタ㈱
京都中央信用金庫
近畿日本ツーリスト㈱

クラブツーリズム㈱
クラリオン㈱
グランドハイアット東京
ケンコーコム㈱
興銀リース㈱
コクヨ㈱
㈱コトブキ ベトナム
㈱小松製作所
㈱コメリ
㈱ザ・ウィンザー・ホテルズ インターナショナル
㈱サトー ベトナム
G.A. コンサルタンツ㈱
㈱滋賀銀行
JALスカイサービス㈱
㈱JALナビ福岡
スズキ㈱
住商リース㈱
住友化学㈱
住友ゴム工業㈱
住友重機械工業㈱
住友生命保険相互会社
住友電気工業㈱
住友電装㈱
住友電装㈱インドネシア
住友電装㈱タイ
住友電装㈱中国
住友電装コンピュータシステム㈱
積水ハウス㈱
ソニー㈱
㈱損害保険ジャパン
ダイキン工業㈱
ダイセル化学工業㈱
大日本印刷㈱
ダイハツ工業㈱
㈱ダイフク
大和証券エスエムビーシー㈱

㈱地域科学研究所
㈱TKC
TDK㈱
㈱テイクアンドグ・ニーズ
㈱ディスコ
㈱デニーズジャパン
東海ゴム工業㈱
東急観光㈱
東京海上日動火災保険㈱
㈱東芝
東陶機器㈱
東レ㈱
㈱トキメック
㈱豊田自動織機
㈱トラベルヴォイスアンドネット
日揮プランテック㈱
日興コーディアル証券㈱
日産自動車㈱
㈱日本触媒
日本インター㈱
㈱日本公文教育研究会
日本軽金属㈱
日本興亜損害保険㈱
日本生命保険相互会社
日本生命保険相互会社 大分支部
日本ペーリングインゲルハイム㈱
㈱日本旅行
㈱ノエビア
㈱NOVA
野村證券㈱
バーカー加工㈱
ハウステンボス㈱
㈱パソナ
白光㈱
服部ヒーティング工業㈱
浜松ホトニクス㈱

東日本旅客鉄道㈱
日立機電工業㈱
広島ゼロックス㈱
ヒロセ電機㈱
㈱VSN
福岡ゼロックス㈱
福山通運㈱
富士ゼロックス㈱
富士通㈱
富士通テン㈱
㈱豊和銀行
北海道国際航空㈱AIRDO
本田技研工業㈱
マースク㈱
㈱毎日コミュニケーションズ
マブチモーター㈱
㈱マルハン
三井住友カード㈱
三井住友海上火災保険㈱インドネシア
三井住友銀行
三ツ星ベルト㈱
㈱明電舎
矢崎総業㈱
㈱山口銀行
㈱リクルートスタッフィング
学校法人立命館(APU)
㈱ローソン
ロート製薬㈱
ローム㈱
ローム㈱台湾
YKK AP㈱
ワタミ㈱

3ページで紹介した「キャリア・ディベロップメント支援制度」をはじめとして、父母の会では様々な就職支援事業を展開し、学生の皆さんの就職活動のサポートを行っています。

1 立命館大学就職企画 「キャリアアドバイザー懇談会」への APU学生の参加

立命館大学の卒業生は創立以来約26万人にのぼり、本学の卒業生では未だカバーできない幅広い業界で活躍されています。この「キャリアアドバイザー懇談会」は、立命館大学の卒業生から、業界や企業の「生きた情報」と実践的なアドバイスを受けることができます。

今年度は2005年11月26・27日にびわこ・くさつキャンパス、12月10・11日に衣笠キャンパスでそれぞれ開催され、メーカー・商社流通・マスコミ・サービス業等幅広い職種の先輩方が参加して下さいました。APUからも昨年度のべ300人以上の学生が参加した人気の高い企画で、特に今年度はそれぞれのキャンパスで2日間にわたって開催されたことから、父母の会では、昨年度までの往復のフェリー代に加え、宿泊費と宿泊先からのバス代をセットにしたツアーに対して補助を行いました。結果、のべ250名以上の学生が参加し、今後の就職活動に向けて、貴重な情報を得ることができたようです。

2 立命館大学就職企画 「立命館学内企業説明会」へのAPU学生の参加

昨年度まで「ふれあいセミナー」として開催されていた企画で、2月上旬から3月中旬にかけて企業の人事担当者が立命館大学に訪し、説明会を開催するものです。多岐にわたる業種から400社以上の人事担当者が来訪するため、これから本格的に就職活動をスタートさせようとするAPU学生も多く参加しています。父母の会では昨年度に続き、参加のための旅費の支援を行っています。

3 筆記試験(SPI)対策講座

多くの企業が実施する代表的な筆記試験である「SPI試験」について、APUでは早い段階で問題に慣れ、その傾向と解き方などを理解することを目的に、学研メディコンより講師をお招きし、ガイダンスと模試をセットとした対策講座を開講しています。父母の会は、この講座の委託費を支援するとともに、今年度は会員子女学生が無料で受講できるように補助も行いました。2回にわたって開講された対策講座には、のべ323名が受講しました。



4 就職活動ハンドブック2006作成

学生が就職活動を行う際に必要な情報を満載した冊子を作成しました。就職活動の進め方、自己分析、OB・OG訪問の方法、エントリーシートの書き方、自己PRや志望動機のヒントまで、就職活動のあらゆるステップで参考となるポイントが詳細に書かれています。父母の会では、冊子作成費用を補助しました。



5 就職関連書籍購入

父母の会では、学生に最新の就職関連情報を提供すべく、年鑑、総監、総覧などの書籍を定期的に寄贈し、就職資料室の充実を図っています。

6 APU就職支援交流懇談会開催



3回生対象の就職サポート企画として、APU卒業生と在学生で組織するAPU校友会が主催し、立命館大学の東京校友会の協力により、2003年から開催されているもので、今年度は2005年10月16日(日)に開催されました。

当日は、立命館大学の東京校友会から株式会社オートバックスセブン住野公一代表取締役をはじめ有志15名が本学キャンパスを訪れ、APUからは3回生を中心に約60名が出席しました。

グループ別懇談や全体交流会が実施され、参加者にとっては東京校友会の皆さんのキャリア体験や実際の仕事内容などを伺うことで将来のキャリアを考えるきっかけになると共に、本学卒業生および立命館大学の卒業生とのネットワークを広げる機会となり、就職を控えた学生の励みとなっています。父母の会ではこの企画にかかる開催費用を支援しています。



インターンシップとは、在学中に自らの専攻、将来のキャリアに関連すると考えられる企業・団体等で就業体験(多くは無償)を行うことです。本学では、主に夏と冬のセッション期間中にインターンシップを実施しており、開学からこれまで、協定型(APUと提携を結んだ受け入れ先でのインターンシップ)だけで約100社・団体にて、延べ700人を超える学生が参加しました。最近の傾向として、「採用直結型インターンシップ」

が各業界に広がりつつあります。これは、インターンシップに参加した学生の中から、優秀な学生に内定を出すという採用方法です。また、学修の発展や将来のキャリア形成に役立つ内容で、事前研修への参加など一定の要件を満たせば、協定型・自由応募型ともに正課科目として登録することもできます。就業体験を積むとともに、インターンシップで在学中に最大8単位を取得することが可能です。

本学インターンシップの主な形態

1. 協定型

本学と覚書を交わし、提携した企業・団体にてインターンシップを行います。毎年6月・11月頃にガイダンスを実施、その後、派遣先をキャリア・オフィスHPに掲載し、募集と選考を行います。インターンシップ期間中の事故に備え、保険の加入が必須となっています。

2. 自由応募型

学生が独自にインターンシップ先を探し、申し込みます。多くの学生は、関心のある企業のホームページから情報を得て応募しているようです。保険に加入する必要があるため、参加が決定した場合は、必ずキャリア・オフィスへ連絡することが必要です。

Q&A

Q 派遣期間はどのくらいですか？

A 1週間から2週間くらいまでが一般的です。企業によっては1日のみ、1ヶ月など差があります。また、派遣時期の最近の傾向として、春よりも夏にインターンシップ生を募集する企業が多いようです。

Q 仕事の内容はどのようなものですか？

A 多種多様です。会社見学的なものや講義中心のものから、実地研修や一つのプロジェクトを仕上げるものなど、企業によって異なります。仕事の内容は、事前に受け入れ先へ聞くことが大切です。

Q 海外でもインターンシップができますか？

A できます。仲介団体および各企業・団体のホームページなどで情報収集を行うことが可能です。キャリア・オフィスにも一部情報があります。海外でのインターンシップは、ビザ・保険などの問題があるため、かなり早い時期からの準備が必要です。

学生インタビュー

父母の会の「キャリア・ディベロップメント支援制度」を活用してインターンシップを体験

橋本 早苗さん(APM3回生)

インターンシップ先:
日本貿易振興機構(JETRO)
海外調査部アジア大洋州課
/ 総務部広報課



約1ヶ月という長いインターンシップの中で、広報課でのJETROの広報番組制作に携わりました。インターンシップとはいえ、番組の中の5分間のコーナーを任せられ、テーマ、取材先の選定から撮影、編集にわたる全てを担当しました。主な視聴者はビジネスマンですので、単なる情報提供だけに終わらず、どんなビジネスチャンスが見出せるのかという点が番組制作のポイントになります。そのポイントがしっかり伝わるように、打ち合わせを繰り返し、指導を受けながら取材を続けました。特に編集の段階では、限られた時間でどのシーンをどのように使えば効果的なのかを考える点が最も苦労しました。ただ、相手の立場に立ち、相手が自分の仕事に何を求めているのか、担当している業務のポイントは何かということを常に考え、それに気づく大切さを学ぶことができました。

上司にほめられたのは、まず粘り強さと打たれ強さ(笑)、フットワークの良さです。更には、私が毎日定時の30分前に出社し、午前と午後それぞれのスケジュールを作成して、定時にはそれを上司に提出し確認してもらっていたことです。一日の動きを細かく伝えることで、上司からも具体的な指示やアドバイスを受けられましたし、自分自身も業務を進める中で感じた疑問点などが明確になり、それについてどのように調べていけば良いのか、最も効率の良い方法を考えるきっかけにもなりました。

社会に出ることに不安を抱いている方もいるかもしれませんが、そういう方にこそ、まずはインターンシップにチャレンジして欲しいと思います。積極的に体験することで、漠然と感じている不安が取り除かれるきっかけになるのではないのでしょうか。

最後に長期にわたってインターンシップを行いましたので、交通費などが結構かかり、父母会のCD支援制度は非常に大きな支えになりました。こうした貴重な体験のサポートをしてくださってありがとうございました。



JETRO海外調査部アジア大洋州課の皆さんと

2005年夏 主な協定型インターンシップ派遣実績

RKB毎日放送(株)
旭化成(株)延岡支社
(株)朝日新聞西部本社
おおいたインフォメーションハウス(株)
(株)大分銀行
大分県庁
大分航空ターミナル(株)
大分全日空ホテル オアシスタワー
大分みらい信用金庫
カオハガン・アイランド・クラブ・インク

韓国貿易センター(福岡)
経済産業省九州経済産業局
財団法人国際観光サービスセンター(ITCJ)
国際協力機構(JICA)九州国際センター/フィリピン事務所
(株)滋賀銀行
全日本空輸(株)
社会福祉法人 太陽の家
(株)ソーリズム・マーケティング研究所
(株)TOSエンタープライズ
(株)トキハ

西日本電信電話(株)大分支店
日本国際連合協会 東京都本部
日本通運(株)大分支店
日本貿易振興機構(JETRO)
熱帯農林技術開発協会(TAFTDA)
福岡市総務企画局 国際部福岡アジア文化賞室
(株)ブライツキャリア
別府市役所
文部科学省
(株)やすや

国内学生を対象とした以下の奨学金は、スチューデントアドバイザー・オフィスが担当しています。
応募書類など詳細については、スチューデントアドバイザー・オフィスでご確認ください。

1 日本学生支援機構奨学金 (旧日本育英会)(貸与)

第一種(無利子)

出願資格:

国内学生(在留資格が「永住者」「永住者の配偶者」も含む。また、学業成績および家計基準を満たしていることが必要。)

貸与金額(2005年度):

自宅通学者54,000円
自宅外通学者64,000円

貸与期間:

貸与開始月から卒業するまでの最短修業年限

募集時期:

毎年4月

第二種(有利子:在学期間中は無利子。貸与利率は上限3%)

出願資格:

国内学生(在留資格が「永住者」「永住者の配偶者」も含む。また、学業成績および家計基準を満たしていることが必要。)

貸与月額:

3万円・5万円・8万円・10万円の4種類から選択

貸与期間:

貸与開始月から卒業するまでの最短修業年限

募集時期:

毎年4月

※緊急・応急採用

第一種・第二種ともに、家計急変や災害被災等で学資に困ったときに、随時出願を受け付ける制度があります。希望する場合はスチューデントアドバイザー・オフィスへご相談ください。

2 奨励奨学金制度(いずれも給付)

①安藤百福名誉博士奨学金

対象:

第1セメスターおよび第2セメスター、あるいは第3セメスターおよび第4セメスターに優秀な成績を修めた者、または顕著な自主活動を行った者

給付金額:

25万円

採用人数:

8名以内(2回生4名以内・3回生4名以内)

②安藤百福名誉博士栄誉賞

対象:

学部卒業予定者で、成績優秀であり、自主的活動などにおいて顕著な成果を修めた者、また将来においても意欲的な進路の目標を掲げ、アジア太平洋地域で大きな貢献を果たすことが期待される学生

給付金額:

上限100万円

選考時期:

卒業時

採用人数:

各卒業時期に1名

③優秀学生奨励金

対象:

第2～第7セメスター修了時、各学部において、各入学年度およびセメスター期を対象グループとし(例:2005年度春セメスター入学者グループ・2005年度秋セメスター入学者グループ)、各グループ内でのGPAが上位1位の者。かつ、各グループでの平均修得単位数を満たしている者。

給付金額:

1名につき10万円

採用人数:

各入学セメスター期につき各学部1名

④自主活動奨励金

対象:

自主的諸活動において顕著な正課を修め、かつ今後更に高い目標を掲げ、その達成が期待される個人または団体

給付金額:

上限10万円

応募時期:

毎年度12月

⑤レジデント・アシスタント奨学金

対象:

APハウスのレジデント・アシスタントに任命された者

給付金額:

月額1万円

給付期間:

レジデント・アシスタント任期期間

3 生活援助を目的とした奨学金制度

①緊急授業料支援金(減免)

対象:

内閣総理大臣による「非常災害対策本部」が設置された災害によって家計が急変し、修学に著しい支障が生じた者、または生じる恐れがある者で、その事情が生じたときから1年以内のもの。

募集時期:

授業料納入時

給付金額:

年額25万円を上限として、該当する授業料を減免

②生活援助金(貸与)

対象:

仕送りの遅れなど、不測の事態によって緊急に援助を必要とする者

貸与金額:

上限2万円

貸与期間:

3ヶ月以内(無利子)

4 APU-Club・国内学生父母の会 (いずれも給付・2005年度実績)

①修学援助奨学金A

応募資格:

APU-Club・国内学生父母の会会員である学費負担者の死亡により、就学を継続することが困難となった学生

給付金額:

上限50万円

応募時期:

死亡日より3ヶ月以内

備考:

修学援助金Bとの併給および受給後は修学援助金Bを含めて再出願できません。

②修学援助奨学金B

応募資格:

APU-Club・国内学生父母の会会員である学費負担者の家計急変により、就学を継続することが困難となった学生

給付金額:

上限50万円

応募時期:

毎年度6月・12月に対象家計急変期間に該当するものが応募し、選考を経て給付者を決定する。

備考:

修学援助金Aとの併給および受給後は修学援助金Aを含めて再出願できません。

③自主活動表彰

応募資格:

各分野において全国レベルでの顕著な成果を修めた団体・個人

給付金額:

上限20万円

応募時期:

毎年度12月に応募し、選考を経て表彰者を決定する。

5 地方公共団体奨学金

日本国の都道府県および市町村の多くが、それぞれの地域に居住するものの子弟もしくは出身の学生に対し、独自の奨学金制度を設けています(貸与・給付など制度や応募資格は各自治体で異なります)。これらの団体の募集要項は、APUに募集依頼があり次第、掲示します。また、APUへ募集依頼が来ない場合もありますので、該当の都道府県・市町村の教育委員会へ直接問い合わせ、各自出願してください。

APUに届いている要項:新潟県・茨城県・大阪府・岡山県・愛媛県・鳥取県・福岡県・熊本県・長崎県・鹿児島県・沖縄県

6 民間奨学財団による奨学金

優秀な人材の育成をはかり、社会の発展と福祉に寄与することを目的とした民間団体による奨学金制度があります。これらの募集要項は、各団体から本学へ募集依頼があり次第、掲示板にて告知します。

修学援助奨学金A受給者

この度は、修学援助奨学金を支給して頂き本当にありがとうございました。
APUに入学した時、父は心から喜んでくれました。そして、父が仕事に励み、
学費などを支払ってくれる代わりに私は勉学に励もうと一生懸命頑張りました。

その父を突然亡くし、一時はAPUを辞めようかとも考えました。心の支
えを失い、全く気力が無くなってしまったからです。しかし生前父が一生懸
命応援してくれたこと、そして家族の支えもあって、もう一度それに答えて

頑張ろうという気力が少しずつわき始めました。

ところが、今度は勉強を続けるための十分な財源が無いと気づき、落胆してい
る時にこの奨学金を知りました。もし支給して頂けなかったら、APUでの学生生
活を続けられなかったと思います。

今は最も興味のある環境問題についての勉強ができて、大変充実した毎日を
送らせて頂いております。本当にありがとうございました。

APS3回生女子

この度は修学援助奨学金をいただき、誠にありがとうございます。頂いた
奨学金は、残る息子の大学生活の中で、有意義に使わせて頂きます。

主人が急逝した折、息子は既に4回生を休学して、タイにインターンシップ
に行くことを決めておりました。息子の強い意志を知りながら家庭の事情で
止めさせることは忍びなく、行かせることに決めました。APUで学び、世界
への扉が開かれようとしている矢先のこと、このまま閉ざされてしまっは
という思いが私にも息子にもあったのです。

主人が亡くなり、早や半年が過ぎようとしています。息子のいない家の中は時
間が止まってしまったかのようなのですが、送られてくるメールから、子供は確実に
成長していると確信しております。

海外でのインターンシップを経験して、残る4回生を友達や先生方と有意義に、
また楽しく明るく前向きに送って欲しいものと思っております。

皆様からのご支援とともにお心をも頂戴し、感謝の気持ちでいっぱいです。あ
りがございました。

APM4回生男子母

修学援助奨学金B受給者

この度は父母の会修学援助奨学金Bに採用して頂き、本当にありがとうござ
いました。

15年間、一日たりとも休むことなく働いていた姿を、幼い頃から側で見て
いた私にとって、父が経営していた会社の倒産はショックであり信じ難いも
のでした。何ん自由なく育ってきた私は、学校へ通い、食事をして生活を送
ることが当たり前のことであると思っていました。生活が一変して初めて、
当たり前だと思っていた生活の有難さに気づかされました。現実を受けとめ
ることができず、また誰にも言えず一人で悩んでいるうちに、少しでも父の
力になりたいという想いが強くなり、退学を考えたこともありました。しかし、
大学入学を誰よりも喜び、誰よりも応援してくれた父を想うと、父の望みは、

大学を卒業して自立することではないかと思うようになりました。このように今
現在も大学生活を送ることができるのは、両親、そして支援をして下さった皆様
方のおかげと深くお礼申し上げます。

仕事人間でありながら家庭を想う父の背中には私の憧れであり、この思いは今
でも変わりません。私も父のような立派な社会人になりたいと思っています。大
学に入学させてくれた父に対し感謝の気持ちでいっぱいです。父、そして皆様の
期待を裏切らないよう、残された大学生活を意味のある生活にしていきたいと
思います。

この度は、本当にありがとうございました。

APM2回生女子

この度は修学援助奨学金Bへの採用、ならびに様々な配慮に心から御
礼申し上げます。本当に有難うございました。

進路も決まり、大学生活も残りわずかな時期に親族内での家計急変により
大学生活を継続していくことが大変困難になりました。しかし、APU生とし
て取り組んで来た学習や目標を4回生という時期に諦めることがどうしても
出来ず、このようにお力をお借りすることに至りました。

今こうして修学を継続させていただけたことに深く感謝致します。また、修学
できていることの重みと感謝の気持ちを忘れず、残された大学生活に一生懸命
取り組むことが父母の会への恩返しではないかと思っております。

APU生として自信を持って卒業を迎えることができるよう日々精進し、頑張っ
ていきたいと考えております。

APM4回生女子

この度は父母の会就学援助奨学金Bに採用していただき誠にありがとう
ございます。

私は2005年4月から実家を離れAPUに入学しましたが、2005年秋か
ら家計状況が急変し、経済的に大変苦しい状態になってしまいました。父母
の会の奨学金を頂くことにより、実家の両親の負担を少しでも減らすことが
できて、本当に感謝しています。

私の夢は世界の貧困などで学校に行けずに苦しんでいる子供たちを、一

人でも多く救うことです。そのために日々、APUで自分には何ができるのかを
試行錯誤しています。世界には親の手伝いをするために小学校にも行けず、毎
日ごみ山で使えそうなものを集めてお金をしている子供がいるという事実があ
ります。私は大学に通うことができ、しかも今回のように奨学金を受けることにな
って、より一層身が引き締まる思いでいっぱいです。

父母の会の皆様、本当にありがとうございました。

APS1回生男子

父母会では、今年度文化的諸行事やコンサート等の芸術活動を積極的に支援して参りました。

立命館大学交響楽団コンサート

2005年7月8日(金)、立命館アジア太平洋大学開学5周年と立命館大学交響楽団創立50周年を記念した「Ritsumeikan Symphony Concert」が、APUミレニウムホールで開催されました。父母の会は、このコンサートの開催にあたり、「学生支援事業」の一環として経費の一部を支援いたしました。

コンサートは、立命館大学交響楽団にAPU学生が共演して、ドボルザーク交響曲第9番ホ短調「新世界より」第4楽章、ベートーヴェ

ンのピアノ協奏曲第3番ハ短調などの曲目が披露されました。また、ピアノの野村啓祐さん(APS4回生)、サクスの浅野太紀さん(APS4回生)、テナーのカイツ・フナキさん(2005年9月 APU大学院経営管理研究科卒業)がそれぞれソリストとして共演し、訪れた1200人の観客は奏でられる音色にすっかり魅了され、アンコールの拍手が最後まで鳴り止むことはありませんでした。



INTERVIEW

コンサートにいらしゃった父母の皆様にご感想をお伺いしました。



安東 様 ご夫妻

APM1回生

大変素晴らしい演奏会でした。一緒に練習する機会は少なかったと思いますが、息がぴったりでした。そして、APUにこれだけ素晴らしいソリストや学生がいることを再認識しました。



森永 癸巳子 様

APM2回生

これまでオーケストラの生演奏などを聞く機会があまり無かったのですが、息子がAPUに入学したことで、色々な文化的な行事に参加できてとても楽しんでいます。今回のような立命館大学とのジョイント企画は、これからもどんどん行って欲しいですね。



大山 ひとみ 様
加藤 未香 様(祖母)

APS1回生

とても感動しました。こうしたコンサートは好きですがなかなか時間や都合がつかずに見られませんでした。今日は近くに住んでいることもあって、来ることができ良かったです。心身ともに最後の曲「Oh Happy Day」のようにHappyになりました。

APハウスピアノコンサート

学生の交流イベント支援とレクリエーションのために、2004年度の支援事業として父母の会が寄贈したピアノが学生寮のAPハウスとクレオハイツに設置されており、学生が定期的にコンサートを企画し開催しています。2005年12月14日(水)には「APハウスピアノコンサート」がAPハウス2で開催され、12の個人・団体が出演しました。コンサートは回を重ねる度に聴衆が増え、今回は約150名が美しい音楽に耳を傾け、交流を深めていました。

出演者の中には、一般の方の参加もあり、学生の伴奏に合わせて

美しい歌声を披露してくださいました。

最後は、ピアノとギターの伴奏に合わせて、Kioroの「未来へ」という曲が、日本語、韓国語、中国語、英語の4言語でフレーズを分けて披露されました。司会者からの「この曲は母親の目線で作られた曲です。皆さんもお母さんのことを考えながら一緒に歌いましょう」という呼びかけに、会場が一体となり、大合唱となりました。



養和 佳苗さん (APS1回生)

APハウスピアノコンサート実行委員会

このAPハウスピアノコンサートも4回目を迎えました。2004年春に父母の会からピアノを寄贈して頂き、感謝の気持ちを込めてコンサートを開催したのが始まりです。もちろんコンサートの時だけに限らず、このピアノが寮生同士の間で日々交流をするきっかけとなっています。

父母の会の皆様にあらためてお礼を申し上げるとともに、今後も音楽を通じ、学生間のみならず別府市民の皆様、教職員の方々と広く交流が育まれていくことを願っています。ありがとうございました。



石坂団十郎、マーティン・ヘルムヘン コンサート

世界的に注目を浴びている2人の音楽家のコンサートが、父母の会の協賛でAPUミレニアムホールで開催されました。

1人目は石坂団十郎さん。日本人の父とドイツ人の母を持つドイツ生まれのチェリストで、ドイツをはじめヨーロッパ諸国、アメリカ、ロシア、日本と幅広く演奏活動を行っています。2003年には今後世界的に最も期待されるアーティストに贈られる「ヤング・アーティスト・オブ・ディ・イヤー」に選ばれた、実力派若手チェリストです。

石坂さんのコンサートは、2005年4月8日、新入生歓迎企画として開催されました。曲目はコダーイ作曲「無伴奏チェロソナタ」とバッハ作曲「無伴奏チェロのための組曲」第1番・

第6番で、ミレニアムホールの約300人の観衆は、石坂さんが奏でる、時にやわらかく、時に激しいチェロの音色に聞き入っていました。

石坂さんは、1曲1曲演奏が終わるたびに、客席からの鳴り止まない拍手に答えて何度も舞台に戻って挨拶をして下さただけでなく、最後にアンコールに答えて「Music for Children」を披露しました。

2005年12月6日には、ピアニストのマーティン・ヘルムヘンさんをお迎えし、同じくミレニアムホールでコンサートを開きました。西ベルリンで生まれ育ったヘルムヘンさんは6歳でピアノを始め、東西ドイツの統一後、東ベルリンにあるスポーツや音楽といった特別な分野に力を入れた学校で学びました。その後、絶え間ない努力が実を結び、2004年には「ヤング・アーティスト・オブ・ザ・イヤー」の世界最優秀新人賞を受賞しています。

ヘルムヘンさんが、日本では「きらきら星」として知られる「Ah, vous dirai-je, Maman」など身近なクラシック作品を披露して下さいました。その完璧な演奏技術を持つ手から奏でられるピアノの音色がホールに響きわたり、客席からはため息がこぼれました。他にもドビュッシーやシューマンの作品が演奏され、コンサートは幕を閉じました。

最後にお2人がAPU学生に対してそれぞれ素晴らしいメッセージを寄せて下さいましたのでご紹介します。



「音楽は、私に大きな喜びを与えると共に、人の心をひとつにし、さらには聞く人を幸せな気分にさせてくれます。若い方たちの中には日頃ポップミュージックしか聴かないという方も多いかと思いますが、ですから今夜この場所でAPUの皆さんの為に演奏できたことをとても光栄に思います。」

チェリスト 石坂 団十郎さん

「私は、喜びがもたらす経験や恩恵によって、皆さんがそれぞれの特別な魅力を見つけることを望んでいます。私は、音楽という才能を発見しました。APUの皆さんの輝かしい未来をお祈りしています」

ピアニスト マーティン・ヘルムヘンさん



天空祭開催

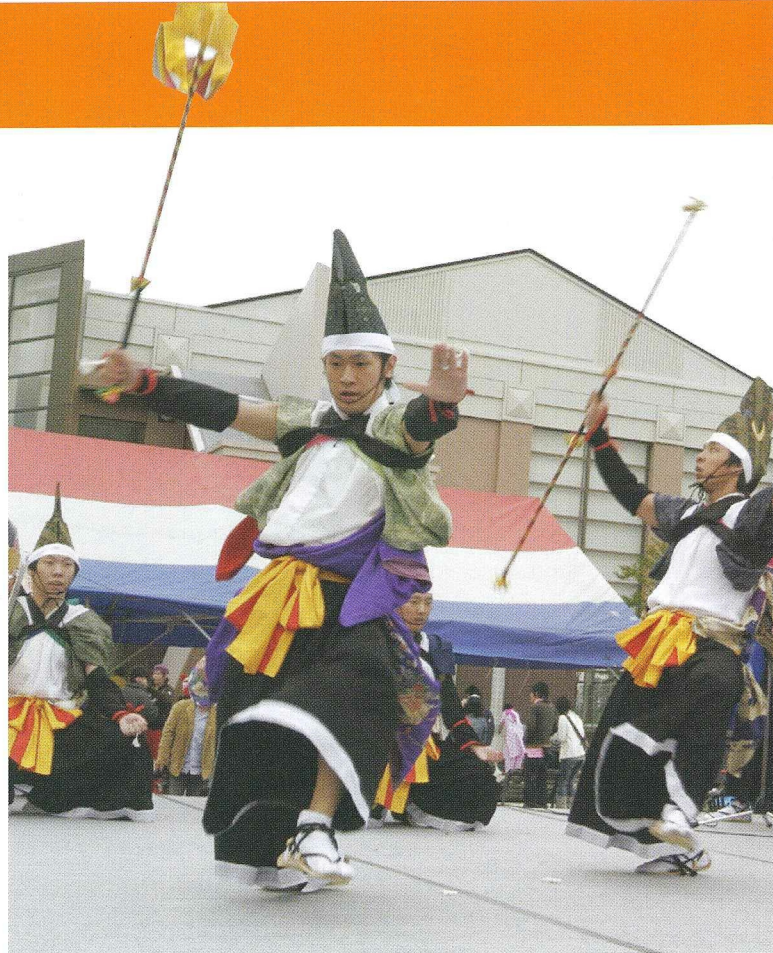


「第三回天空祭」が2005年10月29日、30日に開催されました。今回のテーマは「熱いので注意してください」。学生だけでなく来場者も熱くなれる参加型の学園祭を企画しました。

2日間とも好天に恵まれ、延べ2万人の人々を熱中させました。

当日は世界各国の料理が並び模擬店やフリーマーケットはもちろん、世界のお化け屋敷、大風揚げ、ハロウィン仮装体験等思わず立ち寄りたくなるようなイベントが盛りだくさんでした。カフェテリア2階では天空カフェがオープンし、学生による生演奏に耳を傾けながら、ゆったりと食事を楽しむ来場者の姿も多く見受けられました。また、学術系企画として学術系団体による「ジェンダー論」の講演、学生によるプレゼンテーション大会や世界の歴史教科書の展示なども行い、日頃の学修の成果を公開しました。

なお、今回は夜の企画にも力をいれており、29日の夕方からはニューヨークの舞踏団「アキスタジオカンパニー」とAPU学生による音と踊りの「音彩」が行われたほか、30日には野外ステージにて「夜祭」が開催されました。夜祭にはドラッグクィーンショーや和太鼓“楽”による公演等、9つの団体が出演し観客を魅了しました。



フィナーレは初の試みである打ち上げ花火。澄んだ夜空に約1600発の花火が次々と打ち上げられ、別府の美しい夜景とともにAPUの夜を彩りました。



ワシントン大学主催Global Business Challenge 2005に参加

参加学生: 園田和可子さん・木村梓さん・花山耕太さん・Harry Hartantoさん (いずれもAPM4年生)

私たちは4月にシアトルで行われたグローバル・ビジネス・チャレンジに参加しました。この大会はワシントン大学の主催によるもので、13カ国16校の大学が参加しました。大会の内容は、現地である会社資料が渡され、今後この会社がどのように展開していくべきかをコンサルタントの立場にたちプレゼンテーションするというものでした。時間制限は48時間で、文献もプレゼンテーションもすべて英語です。私たちのチームは同じゼミに属する男女国内国際学生4人で構成されていました。普段のゼミでも英語の文献を扱っている私たちですが、48時間という制限の中でそれを読みこなし、プレゼンテーションを作ることはとても困難なことでした。しかし、入賞はできなかったものの、自分たちの持っている最大限の力を出し、満足のいくプレゼンテーションができたと思っています。

シアトルでは主な内容である48時間の他に、企業のトップの方々とのディスカッションや、他大学の学生との交流会も用意されてい

ました。シアトルにはボーイング社やマイクロソフト社もあり、プログラム全体がとても有意義なものでした。このような貴重な体験ができたのも父母の会のご支援のおかげだと感謝しております。本当にありがとうございました。(園田 和可子)



左から花山さん、ハリーさん、木村さん、園田さん

第3回APUビジネスプランコンテスト開催

2005年11月9日にAPUビジネスプランコンテストが開催されました。このコンテストは学生の起業家精神の高揚や企画力の習得を目的に開かれているもので、今回で3回目を迎えます。応募のあった16件のビジネスプランのうち、1次選考を通過した7件のプランが発表されました。

当日は審査員に大分ベンチャーキャピタル株式会社の手嶋英雄氏とAPUの教授3名の計4名を迎え、商品開発や販売戦略についての構想、起業の可能性などについて活発な質疑応答が行われました。また、参加学生がお互いのプランについて積極的に意見を出し合う場面も多くみられ、手嶋審査員より「非常によく勉強している。屈託のない意見交換が良い」との講評をいただきました。

審査の結果、最優秀賞には振動機器を使って盗難や置き忘れを防止する「大切な持ち物が離れたら知らせる画期的な防犯グッズカッブル」についてのプランを発表した吉田奈緒子さん、松本玄さん、

小倉あゆみさん（いずれもAPM3回生）ら5人が、優秀賞にはデザイン等付加価値をつけて多言語翻訳する「パシフィック翻訳プラス」についてのプランを発表したウェンダ グムリヤさん（APM4回生）、瀬戸川淳実さん（APS2回生）ら4名が選ばれました。

また、コンテストの成果を机上のものに終わらせないため、最優秀賞及び優秀賞の受賞者に対して東京を中心としたベンチャー企業等でのインターンシップに参加する権利が与えられました。父母の会は、当該インターンシップに係る経費の一部を支援いたしました。



吉田 奈緒子さん（APM3回生）

今回は貴重な経験をさせていただいてありがとうございました。授業の一環でプランを作成しましたが、コンテストを開催していただいたおかげで、私達の可能性を広げることができました。コンテスト後の充実した東京研修も大変役に立ち勉強になりました。

APUビジネスプランコンテストで自信を得た私達は、九州ビジネスプランコンテストに応募し、見事3位という結果を得ることができました。このような貴重な体験ができたのも、父母の会の皆様の援助があったからです。本当にありがとうございました。

「APU-Club・国内学生父母の会」はこの他にも以下のイベントについて協賛しています

①立命館相撲部応援ツアー
(2005年5月実施)

②「ウィニング・パス」映画上映会
(2005年7月実施)

③女子陸上部全国大会応援ツアー
(2005年11月実施)

④APU卒業パーティ
(2005年7月、2006年2月実施)



①立命館相撲部応援ツアー



④APU卒業パーティ

立命館学園インド洋大津波災害復興支援プロジェクトへのご寄付のお礼

2004年12月26日に発生したスマトラ沖地震とこれによるインド洋大津波災害の被災国への支援として、立命館学園では対策本部を設置し、「小学校再建プロジェクト」を柱に様々な取り組みを行っております。2005年3月、父母の皆様がこのプロジェクトへのご理解とご協力を呼びかけさせて頂いたところ、これまで93万8,000円という非常に多くのご寄付を頂戴いたしました。あらためて皆様のご支援に深く感謝申し上げます。

現在、最も被害が深刻であったスリランカとインドネシアの2カ国への学校再建支援を表明し、昨年9月スリランカで現地調査を行った上で、南東部のAL-ADSA VIDYALA SCHOOLを対象支援校に選定しました。学校側の要請に従い、講

堂建設及びグラウンド整備の支援を決定し、着工に向けての準備を進めています。また、今年2月には、立命館大学とAPUの学生10名が支援校を訪問し、子どもたちへの防災教育など様々な活動を実施しました。今後は、学校施設の再建といったハード面の支援だけでなく、学校を利用する子どもたちや地域住民に対する教育、メンタルケア、地域活性化など、ソフト面の支援へと活動の領域を広げるとともに、学生が国際協力の現場に出て、様々な学びを得る機会を提供できるよう、対象校における学生のボランティア活動促進にもさらに努めていきます。

今後も皆様のご理解とご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。



講堂建設予定地となる旧校舎



立命館とAPU学生が支援校を訪問（2006年2月）

アカデミック・オフィス(教学)関連

<p>Q 履修科目の登録の際に、希望するクラスの人数が高く、受講できないと言っています。</p>	<p>A APUでは、日常的に学習することを重視しており、授業も一方通行の講義ではなく、学生のプレゼンテーションやディスカッションを積極的に取り入れています。そのため、登録者数を最大でも250名とし、登録の制限を設けています。</p> <p>かつては、定員を超過した場合、抽選で受講者を決定していましたが、「運」により登録が決まること、抽選漏れになった場合は別の科目に登録することになり、最初の数回の授業に出席できなくなるなどから、現在の成績区分による先着順の登録に改めています。</p> <p>履修登録は以下の通り成績に従って3段階に分けています。</p> <p>例:2005年秋セメスター(学期)の成績</p> <p>一番最初に優先登録できる学生・・・学生全体の約25%</p> <p>二番目に優先登録できる学生・・・学生全体の約20%</p> <p>上記からも分かりますように、少数の優秀層だけを優遇している措置ではないことを理解いただきますと幸いです。</p>
<p>Q 履修科目の登録は成績順に優先して行われるということですが、できることなら平等に機会を与えていただけたらと思います。</p>	<p>また、この成績による優先登録は、「入学以降の通算の成績」と、「直前のセメスターの成績」のいずれかで基準をクリアすれば権利が与えられます。つまり、これまで成績が芳しくなかった学生でも、直前の1セメスターのみを頑張れば、優先的に登録する権利があります。また、もともと成績が良い場合は、1セメスターだけ悪い成績でも影響を受けにくいようにしています。</p> <p>このように、意欲ある学生を励まし、頑張った学生に幅広く報いる制度として機能していますので、父母の皆様にもご理解賜りたく存じます。</p>
<p>Q 学外から履修登録を行う際、うまく接続できないことがあります。履修登録をパソコン以外で行うことは出来ますか。</p>	<p>A 学外からの履修登録の場合は、接続できる環境に左右されますが、レスポンスが遅いという点については主要因は多くの学生が同時にアクセスすることによる回線および登録受付のコンピュータの混雑が原因です。学内のネットワークを高速にするとともに、受付コンピュータの処理能力の向上を行っています。</p> <p>APUでは、全ての授業に出席できる条件を確保するため、登録完了後に授業を開始しています。日本の多くの大学では、授業開始後に登録するため、最初の数回の授業はお試し期間のような状況です。APUでは、教育の質の維持・向上のためには1回目の授業から出席できる条件を確保することが重要と考えています。これを実現するためには、パソコンを利用した登録方法をとらざるを得ません。レスポンスの改善については、学生のみなさんの要望をふまえて、ネットワーク環境の整備を計画的に行いたいと考えています。</p>
<p>Q 教職課程は、今後開設されますか。</p>	<p>A 教職課程については現在、立命館大学との連携による教職課程履修プログラムの検討を進めています。在学生の皆さんについては、開設年度によっては一部履修できる場合もあります。</p>
<p>Q 水曜日に開講される授業が少ないのはなぜでしょうか。</p>	<p>A 水曜日の午前中につきましては他の曜日と同様に授業を開講しています。ただし各種講演会の実施や、学生の課外活動、学生相互交流の時間を提供するため、午後は原則として授業を置いていません。APUの多文化・多言語環境を活かし、正課外での学生の交流を促進することは、異文化理解や国際性の涵養、学生の成長にとって非常に重要なことと考えております。そのための活動の時間を確保するために、原則として、水曜日の午後に授業を入れておりません。</p>
<p>Q 親元を離れ、子供の様子がわかりません。授業に出席しているかどうかを確認してもらうことはできますか。</p>	<p>A 日々の出席状況を全て大学側が把握しているわけではありませんので、直接ご本人に確認ください。ただし、長期にわたって連絡が取れないなど、特別な事情がある場合は、アカデミック・オフィスまでご連絡ください。</p>

スチューデントサポート・センター(学生生活)関連

<p>Q 自動車通学はなぜ禁止されているのですか。</p>	<p>A 駐車スペースが確保できないことと、開学時に渋滞と事故の増加を危惧した近隣住民の方々より自粛申し入れがあったことの2つの理由から、病気等の特別な理由を除いて自動車通学は禁止しています。ご理解をお願いします。</p>
<p>Q 通学のバスが満席で乗れず、授業や試験に間に合わなかったことがあると聞きました。</p>	<p>A バス会社とは定期的に協議をおこない、通学ピーク時の増便などを実現してきました。しかし、ご指摘のとおり、まだまだ課題が残されていますので、今後も継続して協議をおこなっていきます。なお、このようなケースが生じた際には、アカデミック・オフィスもしくはスチューデントサポート・センターまでご相談ください。</p>
<p>Q 引っ越しの際、別府市内のアパート・マンションはどのように探せば良いでしょうか。</p>	<p>A 別府市内のアパート情報を提供する株式会社クレオテック(立命館が100%出資して設立した会社です)の窓口が学内にございます。直営のクレオハイツをはじめ多数の管理物件があり、ご要望に応じて紹介いたしますので、お問い合わせください。 株式会社クレオテック 電話:(0977)78-1162</p>

Q	APハウスの安全・防災面を強化して欲しい。	A	APハウスの安全・安心を確保するため、寮生からの要望も受けて、防犯カメラを設置しました。また、各部屋への訪問者を部屋の中から確認して対応できるよう、全室にドア・スコープを付けました。
Q	親元を離れてひとり暮らしをしているので、健康管理ができていないのか気になります。大学ではそうした対応を行っていますか。	A	ヘルスクリニックでは、病気やけがをした時の応急処置だけでなく、適切な病院や診療所の紹介や、健康管理に関する様々な情報提供を行っています。

キャリア・オフィス(就職・インターンシップ関連)

Q	成績は就職活動に影響がありますか。単位が足りずに卒業できなかった場合は内定はどうなるのでしょうか。	A	必ずしも成績の良い学生が就職に有利だとは限りません。採用・選考は人物重視で行われていますので、勉強など日々の努力を怠らず、学生時代に何をしたかということが非常に重要です。内定は卒業を前提条件として出しています。したがって卒業が出来ない場合は、同時に内定も取り消されるケースが大多数です。そのため、3回生終了までに計画的な単位修得を行う必要があります。特に、3回生終了時点で80単位以上修得できていない場合(春入学者の場合)、「卒業見込証明書」が発行されませんのでご注意ください。
Q	地元の企業に就職させたいと考えていますが、APUに全国各地の企業の求人票が届いていますか。	A	多くの企業様から関心を寄せていただいております。全国からAPU宛に多くの求人をいただいております。また、APUと立命館大学は双方の求人票をお互いに共有しているため、非常に多くの求人票を学生に提供できております。
Q	秋入学・秋卒業者は就職に不利でしょうか。	A	秋卒業だから有利・不利ということはありません。もっとも大切なのは、自分がいつから働き始めるのか、そのためにはどのようなスケジュールで就職活動を進めるのか、事前に十分な準備を行うことです。また日本の企業の多くは入社を4月としています。一方で通年採用の広がりによって秋に採用を行う企業も増えています。就職活動のタイミングも含め、分からないことがあればキャリア・オフィスへ相談してください。
Q	卒業後も就職活動を行う場合、大学に相談できますか。	A	キャリア・オフィスでは卒業生の相談にも必要に応じて対応させていただいておりますのでご利用下さい。

メディアセンター(図書)関連

Q	欲しい本が手に入らず送って欲しいと言われることがあります。もっと図書館の蔵書を増やして欲しいのですが。	A	APUの蔵書は現在約8万冊あります。蔵書の増加を急速に進めており、昨年度ならびに今年度の図書購入予算はそれぞれ1億円を計上し、重点的かつ計画的に充足を進めています。また、昨今の情報化により、雑誌や論文はデータベース化が進行しており、冊数の充実と合わせ、このオンラインデータベース化も進めています。今年度、新たにEBSCOを導入し、現在、29のオンライン・データベース、電子ジャーナルが使用できます。今後も利用者サービスの拡充に努めていきたいと考えています。
Q	大学で専門的に勉強している分野以外の本を図書館で注文したら購入してもらえますか？	A	ライブラリーでは、学生からの購入希望を受け付けています。ライブラリーにおいてほしい本がある場合はこの制度をご活用ください。ただ希望すれば何でも購入するということではありません。大学図書館の蔵書としてふさわしいものに限りです。

アドミニストレーション・オフィス(学費納入)関連

Q	学費の請求スケジュールを教えてください。	A	会報の最後に「学年暦」と合わせて2006年度学費請求スケジュールを掲載しております。また、毎年2月に次年度のスケジュールを学費請求先住所にお送りしていますので、あわせてご確認ください。
Q	納付書をなくしてしまったのですが。	A	アドミニストレーション・オフィスにご連絡下さい。TEL: 0977-78-1112 学籍番号と学生氏名を確認させて頂き、納付書を再発行いたします。
Q	納付書が届きません。	A	それぞれの納付書の発送予定日については、学費請求スケジュールに記載しています。予定日をはるかに過ぎて納付書が届いていない場合は再発行いたしますので、上記アドミニストレーション・オフィスまでご連絡下さい。なお、学費請求先住所に変更があった場合は、必ずスチューデントサポート・センターに届け出て下さい。
Q	領収書を発行してもらうことはできますか。	A	基本的には発行していません。納付書の振込金受取書が控えとなります。郵便局自動引落をご利用の場合は、通帳にてご確認をお願いしていますが、やむを得ない事情がある場合はアドミニストレーション・オフィス学費担当者までご相談下さい。

2006年度学年暦&学費納付スケジュール

3 March	3月31日(金) 春セメスター授業料A(固定学費) 納付書送付予定日	
4 April	4月 1日(土) 入学式 4月 3日(月) オリエンテーション 4月10日(月) 春セメスター開講日、春第1クォーター開始 4月15日(土) 春セメスター授業料A(固定学費) 納入期限	4月22日(土) 補講日 4月29日(土) <みどりの日> 授業なし
5 May	5月 3日(水) <憲法記念日>*授業日 5月 4日(木) <国民の休日>*授業日 5月 5日(金) <子どもの日>*授業日 5月 6日(土) 補講日	5月20日(土) 補講日 5月27日(土) 補講日 5月29日(月) 春第1クォーター試験期間(5月31日まで)
6 June	6月 1日(木) 授業なし(6月2日まで) 6月 5日(月) 春第2クォーター開始 6月15日(木) 春セメスター授業料B(単位料)・父母会費納付書送付予定日	6月17日(土) 補講日 6月30日(金) 春セメスター授業料B(単位料)・父母会費納入期限
7 July	7月 1日(土) 補講日 7月15日(土) 補講日 7月17日(月) <海の日>*授業日	7月24日(月) 春第2クォーター試験期間(7月28日まで) 7月31日(月) 夏セッション開始、夏セッションI開講(8月4日まで)
8 August	8月 7日(月) 夏セッションII 開講(8月11日まで) 8月21日(月) 夏セッションIII 開講(8月25日まで) 8月28日(月) 夏セッションIV 開講(9月 1日まで)	
9 September	9月 6日(水) 卒業合否発表 9月15日(金) 卒業式 秋セメスター授業料A(固定学費) 納付書送付予定日 9月18日(月) <敬老の日> 授業なし	9月20日(水) 春セメスター成績発表・履修科目登録ガイダンス 春セメスター終了 9月21日(木) 入学式、オリエンテーション、秋セメスター開始 9月23日(土) <秋分の日> 授業なし 9月30日(土) 秋セメスター授業料A(固定学費) 納入期限
10 October	10月 2日(月) 秋セメスター開講日・秋第1クォーター開始 10月 9日(月) <体育の日>*授業日	10月14日(土) 補講日 10月28日(土) 補講日
11 November	11月 3日(金) <文化の日>*授業日 11月11日(土) 補講日 11月20日(月) 秋第1クォーター試験期間(11月22日まで)	11月23日(木) <勤労感謝の日> 授業なし 11月24日(金) 授業なし 11月27日(月) 秋第2クォーター開始
12 December	12月 9日(土) 補講日 12月10日(日) 秋セメスター授業料B(単位料)・父母会費納付書送付予定日	12月16日(土) 補講日 12月23日(土) <天皇誕生日>*授業日(1月8日分の授業) 12月31日(日) 秋セメスター授業料B(単位料)・父母会費納入期限
1 January	1月 8日(月) <成人の日> 授業なし 1月20日(土) 補講日	1月27日(土) 補講日 1月29日(月) 秋第2クォーター試験期間(2月2日まで)
2 February	2月 5日(月) 冬セッション開始 冬セッションI 開講(2月9日まで) 2月11日(日) <建国記念の日> 授業なし	2月12日(月) 冬セッションII 開講(2月16日まで) <振替休日>*授業日 2月19日(月) 冬セッションIII 開講(2月23日まで) 2月26日(月) 冬セッションIV 開講(3月 2日まで)
3 March	3月 7日(水) 卒業合否発表 3月16日(金) 卒業式 3月21日(水) <春分の日> 授業なし	3月26日(月) 秋セメスター成績発表・履修科目登録ガイダンス 3月31日(土) 秋セメスター終了

※このスケジュールは予定ですので変更される場合があります。ご了承下さい。

APUのオフィス案内

スチューデントアクティビティーズ・オフィス

TEL 0977-78-1104/FAX 0977-78-1125
正課外活動、イベントに関すること、APハウス(学生寮)、住居に関すること、地域交流活動、ホームステイ・ホームビジットに関すること

言語インスティテュート・オフィス

TEL 0977-78-1101/FAX 0977-78-1102
英語教育に関すること、課外講座(TOEFL®・TOEIC®の運営)に関すること

リサーチ・オフィス

TEL 0977-78-1134/FAX 0977-78-1135
大学院・研究に関すること

スチューデントアドバイザー・オフィス

TEL 0977-78-1124/FAX 0977-78-1125
学籍、学費、奨学金に関すること、アルバイトに関すること、ヘルスクリニックに関すること、その他学生生活に関すること

メディアセンター

TEL 0977-78-1140/FAX 0977-78-1141
APUライブラリー、学術情報、情報システムに関すること

アドミッションズ・オフィス

TEL 0977-78-1120/FAX 0977-78-1121
国内外の入試に関すること

キャリア・オフィス

TEL 0977-78-1128/FAX 0977-78-1129
進路、就職、インターンシップ、エクステンション講座に関すること

アドミニストレーション・オフィス

TEL 0977-78-1112/FAX 0977-78-1109
総務全般、学費の納入方法に関すること

ディベロップメント・オフィス

TEL 0977-78-1107/FAX 0977-78-1113
調査企画および業務開発に関すること

アカデミック・オフィス

TEL 0977-78-1122/FAX 0977-78-1123
学修相談、カリキュラム、定期試験、学年暦、卒業式、休日、休講・補講に関すること、留学、海外言語研修に関すること

ネットワーク・オフィス

TEL 0977-78-1114/FAX 0977-78-1113
学内外の広報、APU-Club・国内学生父母の会、校友会に関すること
国内学生父母の会直通番号:0977-78-1144

APU-Club・国内学生父母の会

〒874-8577 大分県別府市十文字原1-1 <http://www.apu.ac.jp/>
TEL:0977-78-1144 FAX:0977-78-1113

●「APU-Club・国内学生父母の会だより」についてのご意見、ご感想、事務局へのご要望などをお寄せください。



立命館アジア太平洋大学